新京日日新聞
夕刊
九月十七日（巳）
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

武穴要塞を陥れ
陸戰隊、市街を完全占領

【武穴十七日發國通】わが海軍陸戰隊續木部隊は十七日午前八時三十分武穴要塞ならびに同市街を完全に占領、城頭高く飜へる軍艦旗は秋晴の空にくつきりと映えてゐる

土師部隊長陣頭に
馬頭鎮から友軍を掩護砲擊

【馬頭鎮十七日發國通】十四日馬頭鎮の堅壘を拔いた土師部隊長は十六日拂曉友軍續木部隊が武穴攻略を開始するや僅か一キロの長江を隔てゝ眼下に武穴を俯瞰する馬頭鎮西端高地に陣取つた續木部隊の山砲を自ら指揮しつゝ友軍の進擊を援け、眼下に手に取るやうに望見される激戰の推移に目を配り敵影を發見すれば直ちに之を射擊し敵トーチカを突止めては山砲をたゝき込むなど目覺しい活躍振を示した、十六日午前八時三十分續木部隊長が堂々武穴に入城するを目擊するや中竹、多田兩部隊長と共に友軍の武穴攻略を祝して長江を隔てた對岸から萬歲を高唱し、續木部隊長宛信號を以て祝辭を送り、續木部隊長よりはこの友軍の後援に對して謝意を表し、江を隔てゝ兩部隊長感激の交換を行つた

わが玄妙な作戰
光州城忽ち陥落
北部戰線水際立つた作戰

【○○十六日發國通】商城陷落と相呼應してわが部隊は十六日午後八時光州城東端の一角を占領した、これより先光州攻擊のため方家集方面より光州に向つて進擊したわが末永、星、前田、三田村、須磨の各部隊は十六日午後四時頃には早くも光州城外四キロの地點に突進、城內の敵に對し猛烈な銃砲火を浴せつゝヂリ〳〵と城壁に迫つたが、さきに官渡附近より北方に折れた八木、川上、大迫、平田、高堀尾、木村の諸部隊は毛集附近において先着の淮河邇江の間宮部隊の協力を得て潢河を渡河し、正午頃には龍虎州（光州北方七キロ）に突如出現虞を衝かれて狼狽する敵を蹴散らし忽ち龍虎州の敵陣を陷れ息をもつかせず敗敵を急追して南下、午後五時頃には光州北方の四キロにまで潮の如く殺到した、更に黃寺崗附近より北方に迂回して白露河、王庄を經て劉棚に出た一部隊もこれに呼應して北方より光州に迫つた、敵はわが部隊の包圍攻擊に耐へかね城內の隨所に火を放ち市街は炎々と燃え、火焰天を焦して物凄き情景を呈する中を敵は西方羅山光山方面に算を亂して潰走しはじめ、かくて東方および北方より完全に包圍攻擊を受け夕闇迫る頃敵は總崩れとなりわが軍は最後の突擊によつて東城壁を見事に占領、日章旗を高く掲げ、引續き城內の殘敵を掃蕩し光州は遂にわが軍の手中に落ちた

【○○十七日發國通】商城陷落に先だち十五日夜東城壁の前面一里餘の地點まで進出したわが末永、星、前田、三田村、須磨等の諸部隊は大膽不敵にも敵を前にして終夜炎々たる火を焚き續けたが、敵はこれがわが巧妙なる牽制作戰とは露知らず、日本軍は全力をこの方面に集中するものと考へ光州北方に對する守備に緩みを來した、その間わが精銳は快速部隊と協力して北方に迂回敵の意表に出で側背および退路に迫つたので、虞を衝かれた光州の敵は僅か一日にして潰滅し去つたものであつた、この作戰は北部戰線における戰鬪開始以來ひときは水際立つた玄妙さを發揮したものであつた

海、陸、空軍呼應

【武穴城外十六日發國通】武漢防衛の重要據點武穴要塞攻略戰は、十六日午後六時四十分浙鈴陸戰隊續木部隊○○部隊の敵前上陸によつて火蓋が切られた、この日午前六時北山勝男大尉指揮の○○○名を先鋒とする決死の勇士を載せた小舟八隻は前衛指揮艦○○○以下の艦艇に護られ、まだ夜も明けやらぬ揚子江を肅々と上陸地點に達した、勇士達の萬死恐れぬ決意を示す白襷が曉闇を衝いて目にしみるやうだ、午前六時四十分ドッと江岸に乘り着け岸を目がけて隼の如く飛び降りる勇士の姿が輝き出した朝日の光に照り映える、急襲に夢を破られた敵兵が五人、六人、堤防上に姿を現はし、矢庭に手榴彈を持つて擲投する、その一彈は小舟の中に炸裂し勇士の一人は上陸前無念や壯烈なる戰死を遂げ二人とも傷いた、怒髮天を衝いた勇士等はトーチカを乘り越え銃彈雨飛の中を敵陣に殺到、忽ちにして○○部落を占領し上陸第一步の肉彈突擊功を奏し敵第一線を見事突破した

彈雨の中にスツクと起つた續木部隊長の決然たる勇姿は全く武穴の敵を呑んでゐる、突如武穴北方龍家山の敵砲臺より小癪にも要塞砲を射出した、途端に對岸の馬頭鎮から土師部隊の○○砲が小氣味のいゝやうなりをたて敵の發砲源めがけて巨彈をたゝき込んで行く、海の荒鷲は三機、また五機代る〳〵陣地に爆彈をお見舞ひして逃げ出し敵に猛擊をあびせる、秋晴れの揚子江に照り映える軍艦旗を先頭に百米、二百米と完全な進擊ぶりだ、武穴にまで二キロの間に散在する完全に堡壘化された部落といふ部落はわが艦艇、荒鷲の猛爆、巨彈の餌食となつてみる〳〵土煙を立てゝ潰滅して行く、午後二時北山隊の先手は武穴市外月塘まで進出して東部地區の敵と湖を隔てゝ**銃火**を交へ主力は刻々武穴に近迫して行く、長江唯一の難關武穴水道を完全制覇の時はいよいよ迫つた

商城占領部隊
さらに曲河に進出

【○○十六日發國通】商城占領のわが快速戰車隊はじめ諸隊は引續き城內の掃蕩中であるが、一部は敗敵を急追して商城を突き拔けて西進し、午後三時卅分早くも商城西方一キロの曲河東岸に進出した

江南進擊部隊

【○○十六日發國通】江南戰線の人見、太田、藤岡、寺垣の各部隊は堂々轡を揃へ湖北の峻嶮を突破、所在の敵を屠りつゝ進擊を續け十六日夜は雷山、迫士砦の嶮を拔き意氣軒昂○○に向け進擊中である

敵機械化兵團 信陽へ向け北上

【○○十七日發國通】武漢防衛の北部ラインの二大據點商城、光州陷落により敵は京漢線方面に對し直接的脅威を感ずるに至つたが、情報によれば、敵は戰車、野砲等を有する十數個師の機械化兵團を信陽方面に向け北上せしめたと云はれ、光州、商城陷落が敵に與へた衝動は極めて大なるものがある

平和的手段でズ地方獨立確保
ヒ總統の意向をA・P傳ふ

【ベルリン十六日發國通】APベルリン支局は十六日ヒトラー總統はあくまで平和的手段においてズデーテン地方の獨立を確保する意向である旨次の如き觀測を傳へてゐる

十五日のチエムバレン、ヒトラー會談內容は依然不明だが、ヒトラー總統はズデーテン地方の獨立が確保されることを條件にチエコ問題を平和的に解決する意向である旨言明したとの觀測が有力である、但しチエコ政府がズデーテン地方を犧牲にしさへすれば歐洲の平和は確保される譯であるから英國政府の緊急閣議では結局獨、チエコ國境の解決が討議の中心となるのではないかと見られてゐる

英伊協定破棄論
伊國官界に擡頭

【ロンドン十五日發國通】去る四日チアノ外相とパパースチユーイ英國大使間に調印された英伊協定はその後スペイン內亂が一向に解決しないため發效するに至らず有名無實の存在と化さんとしてゐるがチエコ問題惡化は英伊關係を自然疎隔にする結果をも誘致しイタリー官界の一部には最近右協定の破棄論が擡頭して來た、即ちスペイン問題及び今回のチエコ問題は世界平和の敵たる共產主義を歐洲に浸潤させる英佛兩國の政策により惡化したもので、英佛の反省無き限り赤魔の跳梁は愈々加はり歐洲平和は攪亂される英國の眼を醒ます爲には宜しく英伊協定を破棄すべきであるといふのである

張總理北滿へ

張國務總理は政務の餘暇を利用してかねて念願の地方民情の實狀視察をかね北滿に於ける日本移民の狀況視察のため十七日午前九時新京飛行場發旅客機で隨員徐統計處長、松本、張兩秘書官ほか　を帶同于治安部大臣、蔡外務局長官、ほか日滿要人多數の見送裡に初巡視の途に上つた

在滿外務機構を全面的に大擴充
加藤大使館參事官歸京談

堀內外務次官の駐米大使轉出に伴ふ後任外務次官の有力候補者に擧げられてゐる駐滿大使館參事官加藤外松氏は、在滿外務機構の改革、人事問題等に關し本省と重要打合せのため東上中のところ一週間振りで十六日ひかりで歸京、次官就任に關しては『こんどの上京は本省の人事異動に關するものでなく次官の內交涉などは知らないよ、齋藤駐米大使の更迭問題も決つてゐないのに次官の候補などに擬せられる譯が無いではないか』とこれを否定したが在滿外務機構問題の改革に關しては治外法權撤廢後の新情勢に即應して奉天以南の總領事館及び領事館はこれを縮小或は閉鎖し對ソ外交の重要性に鑑み領事分館を領事館に、領事館を總領事館に昇格、機能を擴大強化することに本省の諒解を得た模樣で、明年一月及び四月から實施されるものとみられるが右に關し同氏は官邸で左の如く語つた

▲…今回の上京は外務本省の人事異動に關係はない、從つて次官就任などの話しなども自分は知らない、東京は官民一致非常な緊張振りである、外務首腦部の異動については何も聽いてゐないので、どんな人事が行はれるか判らない

▲…在滿外務機構、即ち領事館の機構は治外法權の撤廢とともに在滿邦人の行政權が滿洲國に移管された上は解消すべき筋合のものであるが、對ソ關係の現狀は領事館を閉鎖撤退するを許さず、一段と强化擴充の必要があり、これがため領事館の廢合は奉天以南の領事分館を整理閉鎖し北滿方面の領事分館はこれを昇格して領事館とし一、二領事館を總領事館に昇格して機構の擴充を圖る積りである、滿ソ外交は即ち日ソ外交であり現下の對外情勢に於いて對ソ外交が重大な部門を受け持つてゐることは言を俟たず、殊に北滿移民地の邦人教育問題もあるので速かに實施したいと考へてゐる

▲…奉天總領事館の存廢問題は奉天が經濟上の中心地である關係から領事館のみでも存置して對外機關との連絡に當るべしとの意見もあるが滿洲國政治の中心が既に新京に移つてゐる現在事變前と同樣に奉天總領事館が各國の不平や泣言を聽く必要もないから自分としては引上げるべきだと考へてゐる、廢合の結果總領事館の數は增減はないと思ふが目下原案を檢討中で詳細なことは言へない

人事往來

着京

▲津田信吾氏（鐘紡社長）十六日來京ヤマトホテル
▲安田賢次氏（會社員）同
▲末光忠一氏（同）同
▲石井直氏（同）同
▲江副孫左衛門氏（會社重役）同
▲西川寅吉氏（滿洲ソーダ會社重役）同
▲川崎吉治氏（木材商）國都ホテル
▲渡邊政晴氏（同）同
▲立脇耕一氏（滿洲無線）同
▲焦谷部還氏（滿洲電線）同
▲藤田九市郎氏（機械商）同
▲田中信氏（大日本ビール會社）同
▲水谷富次氏（大倉商事）同
▲鷹羽仁恭氏（東京電線）同
▲田中喜太郎氏（官吏）蓬萊ホテル
▲木村平八郎氏（纖業）同
▲增山勳氏（官吏）同
▲河部壽治氏（會社員）大都ホテル
▲平戶清治氏（同）同
▲河部吟次郎氏（同）同
▲島田俊雄氏（衆議院議員）同
▲綾部健太郎氏（同）同
▲高森嘉太郎氏（淺野セメント）同
▲井上正典氏（會社員）同
▲堀井正氏（同）同
▲橋本十五郎氏（同）同
▲岩田保次郎氏（日滿商事大連支店長）同
▲下條貞秋氏（安東地方檢察廳次長）同
▲藤野正直氏（會社員）富士屋旅館
▲稻岡基治氏（官吏）同
▲粕谷進氏（同）同
▲倉山一義氏（教員）同
▲篠浦寅尾氏（鑛業）同
▲森本太郎氏（會社員）同
▲青木美敎氏（製紙原料）同
▲田村一男氏（日本生命大連支店長）十七日來京ヤマトホテル
▲長尾春雄氏（同社員）同
▲喜田哲藏氏（滿拓社員）國都ホテル

出發

▲松本貫一氏　十六日奉天へ
▲佐久間章氏　同
▲井澤清氏　ハイラルへ
▲佐久間稔氏　京城へ
▲野寺誠次郎氏　同
▲酒井秀助氏　遼陽へ
▲池田龍雄氏　大連へ
▲山本義一氏　同
▲小都利一氏　同
▲澤井正樹氏　同
▲安見正介氏　同
▲櫻井與太郎氏　敦化へ
▲伊藤寅男氏　大連へ
▲豐田勇氏　北京へ
▲松岡亮平氏　大連へ
▲大瀧基氏　同
▲稙原悅二郎氏　內地へ
▲木村卓郎氏　哈市へ
▲陽與隆吉氏　大連へ
▲小林鐵夫氏　同
▲伴平太郎氏　老頭溝へ
▲山口淸治氏　大連へ
▲谷江寬三氏　哈市へ
▲櫻井盛親氏　同
▲山口德忠氏　同
▲山田覺氏　龍井へ
▲三神五朗氏　哈市へ
▲田中滿一氏　奉天へ
▲高橋順太郎氏　同
▲阿部吟次郎氏　大連へ
▲福井久起氏　同
▲松見俊雄氏　通遼へ
▲金田耕造氏　奉天へ
▲畑一夫氏　同
▲永野賀盛氏　大連へ
▲日野時夫氏　哈市へ
▲國府盛房氏　吉林へ
▲岸田榮氏　同
▲東鄉富雄氏　チチハルへ
▲中正人氏　奉天へ
▲富崎英俊氏　同
▲山口祐三氏　同
▲矢田部惣市氏　同

その日く

□堅壘相次いで陷れ漢口への攻略陣形次第に緊縮、蔣とその一統命脈愈よ迫る

□ズデーテン地方平和裡に獨逸併合を傳ふものあり、力の作用なるを痛感

□あすは忠靈塔秋季例祭、地下に眠る幾千萬の英靈によつてこの國は生れた

□朝鮮からの直通車が相次いで新京まで延長、鮮滿連遊車の出現も夢想にはあらで

□短かき滿洲の秋を滿喫健康體を作れ、石碑嶺、淨月潭、下九台は我を招く

あすは忠靈塔秋季例祭

英靈千三百八柱
軍司令官以下參拜
一般市民も必ず參拜のこと

故武藤元帥以下千三百八柱の英靈永へに眠る新京忠靈塔秋季例祭はあす午前十時より植田軍司令官祭主のもとに嚴肅に執り行はせられる、この日在京各團體學生は午前九時五十五分までに境内所定の位置に着席、午前九時五十八分軍司令官參着、午前十時開式を宣し祭主軍司令官、滿洲國侍從武官、祭典委員長、各機關代表の參拜があつて式を閉ぢる豫定であるが午後一時からは滿洲角道會發會式兼全滿都市對抗角道大會が境内土俵に於いて華々しく擧行され、終日參拜者が塔前に相踵ぐであらう、なほ團體參拜者は必ず所定時間までに着席するよう注意されてゐるが一般市民は午後から擧つて參拜すべきである

國婦がけふ清掃

事變下に迎へる意義深き九・一八記念日の日、忠靈塔では秋季例祭が嚴肅に執行されるがこれに先立ち國防婦人會新京支部では十七日午前九時恒例の忠靈塔清掃を一日繰上げて執行、熱心な會員約四百名が神域に集合して箒取る手も輕やかに境内を隅から隅まで眞心こめて清掃、今は唯翌る日の祭典を靜かに待つのみとなつた、終了後一錢貯金、廢品の蒐集を行つたが、本月は廢品更生運動を強化する爲に各家庭で行つた木綿屑を集めて縱横一尺巾を三枚持合せ作つた雜巾を纏めたが其の數は會員の熱誠溢れて豫定數一萬枚を突破すること一千枚といふ好成績に皆大喜びあつた近日代表者が軍部へ獻納する外十八日は更に南嶺、寬城子兩陸軍墓地を清掃して以て第一線に奮戰する皇軍將士の困苦に感謝の意を表すことになつてゐる

滿喫せよこの秋
鍛へよ健康體！
石碑嶺へ！淨月潭へ！下九台へ！

あすは宛ら　新京日日デー

ハイクと探勝會

本社主催新京ハイキング倶樂部、觀光協會、交通會社後援の石碑嶺淨月潭ハイキングは十八日午前八時バスにて驛前觀光協會前出發同淨月潭探勝は觀光協會前を午前十時出發

下九台行

新京驛、ビユロー主催本社後援の下九台ハイキングは十八日午前十時三十分新京驛發列車で出發下九台着は十一時四十三分

戰跡訪問マラソン

新京體育聯盟事務局主催、本社後援の戰跡訪問マラソンは參加十四組で午後一時西公園前をスタートする

大歌舞伎

滿洲弘報協會主催、大新京日報および本社後援の純益を悉く國都防空高射機關銃購入獻金する中村吉右衛門大一座の大歌舞伎は十八、九の兩夜西廣場倶樂部で午後四時開場、同五時開演、第一日は既に豫約で滿員、第二日も殘席は尠い模樣、尚當日大衆席五圓の分は會場で發賣する

獻金畫展

大新京日報社および本社主催賣上金を國防獻金する武藤夜舟畫伯作品紙本、絹本、額面色紙等の展觀即賣會第二日、會場は三中井五階ギヤラリー

野球試合

本社主催、三協後援の全新京準硬式野球試合は中銀球場

午前十時　警務司—關東軍
正　午　日立—福昌公司
午後二時　電々—滿鐵支社
同四時　内務局—營城子炭礦
經濟部球場
午前十時　司法部—新京商業
正　午　民生部—滿洲炭礦
午後二時　電話局—電業本社

軟式庭球

體聯新京事務・軟式庭球部主催本社後援第一回全新京アマチユアー軟式庭球大會參加一般五十八名、ＯＢ十五名午前九時、電々コート

色を賭けた勝負で
二千圓をふいか
蔦吉をめぐる色慾二筋道

色と慾との二道かけた花街情話＝西五馬路料理店千歳抱へ藝妓蔦吉こと角トメ（二五）は北支方面の好景氣の噂に心引かれ同方面への進出を念願してゐたが、折柄かねて知合ひの映畫館朝日座裏居住の紹介業丸井勝夫（四二）＝假名＝から北支行をあふられ責任をもつて紹介仕樣と男の言葉に話はきまつて二千百圓の前借を支拂ひ仕替のため二人が北支に旅立つたのが八月下旬であつた、天津、北京と北支の旅は續いたが當初の計畫は蹉跌してどこでも雇ふ家とてなかつた、男女の二人旅はものういもの、ある夜宿に落ちついた二人は花札を弄び色をかけて勝負を爭つた、結果女の負けとなつたが〃約束はしたもの〃いくらなんでも…」といやだと言ふ女も男の力には抗し得ず遂に男の前に屈伏してしまつた、以來情痴の旅を重ね初めの目的はどこへやら二人は手をとつて二、三日前またしても新京の地に舞ひ戻つた、ところが丸井は旅先で使つた費用とも二千七百餘圓を女のために投げ出したことゝなり、この回收のため再び女を仕替さすことゝなつた、それを知つた蔦吉は女の大切なものを踏みにじり今更仕替へでもあるまいと首を橫にふつたことから黑白は警察でと二人は十六日午前十一時四道街署保安係に出頭した、目下和泉澤警尉によつて取調べ中であるが、醜い色と慾との紛爭に係官もほろ苦い笑を浮べてゐた

播磨家代表　忠靈塔參拜

皇軍慰問および國都防空高射機關銃獻納劇に出演の中村吉右衛門大一座は十七日午前七時着列車で華々しく入京一行を代表して澤村田之助、中村又五郎兩優が新京神社並に忠靈塔へ參拜した

武藤畫伯展賑ふ

武藤夜舟畫伯の筆になる新京夏姿の傑作掛軸、額面、色紙等百余點の國防獻金日本畫展即賣會は十七日より三中井百貨店五階に於て華々しく開幕した、同畫伯の纖細な畫眼に映じた新京の辻々の風景は巧緻な筆にものされ如實に新京風情が描かれ美化された馬車洋車ニーヤ君に人氣が集まり朝來から雜沓、次々と賣約濟の札が貼られ盛況を呈してゐる、會場で武藤畫伯は語る

支那の曠野に暑熱を冒して奮鬪する皇軍將兵のことを思ふ時吾々銃後國民は一刻も安閑としては居れない氣持で幸ひ多少畫をたしなんで居る處から新京に於ける夏二ヶ月程の辻々風景を描いて見ました、何分急いで描いたので滿足の出來ではありませんが私の意中を諒せられ國防獻金運動に一臂の力添へを希望しております

ころ職品十數點を發見したので有無を言はさず逮捕した、この男は奉天省れ苦力闘鴻徳（一九）といひ空巣ねらひ常習犯と判つた、尚職品は冬黒服上下（大連勝又製田中のネーム入り）獨付オーバー（新京井上製村上ネーム入）協和夏服（永原及久地井ネーム入）その他時計眞珠の指輪紙等時價約四百圓餘である

空巣の常習犯

十六日午後十時頃司法科捜査股岩田刑事が日の出町附近を密行中擧動不審の一滿人を發見、尾行の上同町三丁目苦力小屋の住居に入つたのを突き止め屋内に踏み込んで捜査したところ

言を以て現金二十七圓及洋服一着時價九十圓を騙取逃走、鄕來指名犯人として手配捜査中のところ十六日鄕里延吉警察署に逮捕された旨首都警察廳に通報あつた

委託荷物から拔く

某運送店員原籍北海道雨瀧郡妹背牛村四八眞岩武志（十九）は豫て素行不良のため去る十五日同店を解雇されたが、在店中發送委託の荷物中からモーニング二着（時價三百圓）を竊取せるほか、その他店の名義を以て他店より物品を竊取してゐた惡事の數々が判明中央通署に於て鋭意眞岩を捜査中であつたが、十七日正午頃三笠町附近を徘徊中中央通署員が發見逮捕し本署に連行嚴重取調べ中であるが、餘罪多數あるものと見られてゐる

神戸に巣喰ふ
國際密輸團檢擧
既に百八十名逮捕さる

【神戸國通】兵庫縣外事課では本年七月某大事件に摘發の端緒を得、極力追及を續けてゐたところ

意外

にもユダヤ人二名か國際都市神戸を足溜りに交戰下の日支間に百餘名の各國人を躍らせ弗買と密輸で約百萬圓の巨利を占め戰時經濟の攪亂を企てゝゐる事實を掴みその首領廿七名をこの程檢擧した、この中元兇以下十八名は何れも露系ユダヤ人で外に支那人四名アメリカ人一名、イギリス人二名ゐることが判明した、外事課の發表によるとこの戰慄すべき陰謀團の首魁は内地在住十四年、蓄財百萬圓と稱されるる神戸ユニオン貿易商會社長ユダヤ系ポーランド人ジヨセフ・ヒトカ並に同支配人ユダヤ系白ロシヤ人パウレル・クラスラウスキーで在支のユダヤ人支店長たる洋菓子製造販賣會社社長ニコロー・ゴンチヤロフ及びトーマスクツク社神戸支配人マツクス・グーシムなどと結び、支那人両換商袁史文など四名から弗を買込み親露系ユダヤ人フエルドマン・イギリス人ラツセルなどの女性を上海に往復させ、其間カナダ汽船神戸支店船客主任、イギリス汽船同主任、アメリカ人ジヨセフなどゝ共謀し上海のイバニシコフなどユダヤ人團體と連絡僅か五、六の二ケ月間に七十萬圓の巨利を得てゐたもので、更に密輸團と結んで時計、プラチナ類を上海を通じ歐洲、アメリカより

密輸

した外わが二十圓金貨多數をその儘上海に持出し約三十萬圓を得てゐたもので檢擧の總員は百八十餘名に達し事件は益々擴大する模樣である

婦人矯風會
酒なしデー發足

「戰地思へば酒呑んで居られませうか、斷然けふからやめませう」と基督教婦人矯風會新京支部では九・一八の滿洲事變記念日を期して酒なし運動を開始することとなり、資源愛護は禁酒から、無駄の排除は禁酒から、體位向上は禁酒から、能率増進は禁酒から勤儉貯蓄は禁酒からと刷り込んだビラを市中にばらまいた

新京商業の夕は今夜です

十六日夕刊、大同公園野外音樂室で催される「新京商業の夕」の音樂會の表題に十八日とあつたは誤り、本文通り十七日午後八時からにつき爲念訂正します

同居中盜む

朝鮮黄海道生れ無職張鳳華（二七）は去る六月下旬ごろから市内西四馬路一一二號姜錫崇方に同居中去月六日午後六時ごろ家人不在中を寄貨とし妾所有の蓄音機一台及レコード三十三枚時價五圓を竊取さらに妾の長男姜水岩から甘

兒玉大將の銅像
明治節に除幕式
大連上陸、基礎工事も進捗

新京西公園正門内に建立される兒玉源太郎大將の銅像は日本彫塑界の泰斗北村西望氏が畢生の事業として製作中であつたが此の程竣功數日前大連に陸揚され近く新京に輸送される筈である一方銅像基礎工事も着々進捗しわざく日本内地から取寄せた御影も到着十一月三日明治節の佳節をトして盛大なる除幕式を擧行すべく工事を進めてゐる、なほ建設委員會では十七日正午から新京ヤマトホテルに會合を開き大連から來京した鈴木幹事より從來の經過並に工事の進捗狀況を報告し除幕式その他につき協議を行つたが除幕式に關しては新に委員會を設けて決定を見る筈である

藤影幼稚園生
南嶺の戰跡訪問

西本願寺藤影幼稚園々兒五十名は光岡園長に伴はれて父兄同伴の下に南嶺に眠る護國の英靈の墓に新に墓標を建て花を供へて懇ろになぐさめ午後三時元氣で歸京した

新京高等法院
檢察廳と改稱

司法部では新京安民廣場に新築中の「合同法衙」が竣工、十月一日開廳するので同廳舍内に最高法院、最高檢察廳、吉林高等法院並に吉林高等檢察廳を移して新京高等法院並に新京檢察廳と改稱し吉林には地方法院並に地方檢察廳を設置する筈である

田中中銀總裁
新京中學で講演

田中中銀總裁は新京中學の依賴に應じ十七日午後一時半から學校講堂に於て「資源開發とその要務」に就いて講演を行ふ筈

ハルビンチーム
と電業ラ式蹴球

昨年内地へ遠征した滿洲有數の強豪ハルビン學院ラ式チームは十七日午後九時半來京十八日午後二時から都南寮で新京の強豪電業チームと對戰するが、蓋し近來の大接戰を演ずるものと觀測されてゐる

京山線經由入滿十八日午後十時着はとで來京十九日滯在二十日午後二時三十分離京朝鮮經由渡日の豫定である

順天、敷島運動會

運動シーズンを飾つて十七日は市内小學校の嚴を承つた順天小學校と敷島高女がそれぞれ校庭で運動會を擧行、華麗なプログラムを展開して元氣に秋晴の一日を過した

井上勝純子死去

【東京國通】貴族院議員海軍大佐井上勝純子爵は十五日朝急性肺炎のため赤坂の自邸で死去した、享年五十五

西村五雲畫伯

【東京國通】帝國藝術院會員西村五雲畫伯は、血壓亢進のため七月中旬頃から京都府立病院に入院加療中だつたが、十六日遂に逝去した、享年六十二同畫伯は京都繪畫專門學校長を勤めたこともあり、京都畫壇の長老である

九州山等應召

【大阪國通】大相撲幕内人氣力士九州山はじめ幕下三段目第一の巨漢筑紫洋、南山の三力士は今回名譽の召集令に接したので協會では折から興業中の大阪本場所二日目土俵上からこれを發表、滿員の大觀衆から鐵傘も破れるばかりの拍手をうけた

カフエーの噂

秋が來ました
紅葉がいろづく
酒の香りも
新人多數來ました
鴨川の清き流れに
磨かれた顏は
聰が立ちました
大陸の龍宮と
それはミス東洋です
（廣告）

星野長官視察

星野總務長官は十七日午前七時半新京發バスで松花江水電工事視察のため吉林に向つた、隨行國記者倶樂部員もこれに一同即日歸京する

松岡滿鐵總裁

滿鐵總裁松岡洋右氏は十八日午前七時着列車で來京午前中關東軍司令官、同參謀長と會談午後二時十時發あじあで歸任の豫定

平山理事
あす來京

滿鐵新理事平山復次郎氏は豫定を變更して十八日午後十時着はとで來京國都各機關に新任挨拶をなし二十一日午後二時十分のあじあで離京する

蒙疆から視察團

蒙疆聯盟自治政府主催日本觀光視察團一行は十七日北京發

日本基督教會

一、日曜學校　午前八時半
一、聖書學校　同
一、朝の禮拜　午前十時
説教「禮拜の精神」　石川牧師
一、夕　拜　午後八時
説教「至高の力としての信仰」　石川牧師

日の出を拜する集ひ

あす日曜日新京の日の出時刻午前六時二十分、西公園滅忠碑前で市民早起會、右終つて忠靈塔參拜

メソヂスト教會

一、日曜學校　午前九時
一、滿洲事變七周年記念禮拜　午前十時十五分
説教「黎明を叫び醒さん」　山口牧師
一、夕拜　午後八時
説教「事變の回顧」　有志者

組合教會集會

九月十八日（日）午前九時日曜學校同日午前十時半禮拜説教『山上の町』　高橋牧師

會堂老松町普通學校正門前

西本願寺行事

祝町西本願寺では十八日午後一時半から本堂で左の如き日曜講演を行ふ
演題　眞實を求めて　講師川崎布教師
演題　軍菅　講師光岡輪番

あす（十八日）

▲滿洲事變記念日
▲戰跡訪問マラソン
▲石碑嶺淨月潭ハイキング、午前十時三十五分出發
▲下九台ハイキング、午前十
▲武藤夜舟畫伯展、三中井
▲吉右衛門一座公演、西廣場倶樂部

今晩の主なる放送

▲七・三〇實話朗讀（大連）
▲七・四〇歌舞伎舞台中繼（新京滿鐵社員グラブより）中村吉右衛門一座　▲八・五五ラヂオドラマ「黄海戰前後」（東京）滿川玉枝外大ぜい

映畫と演藝

「神田祭」 東京大歌舞伎狂言解說

〆派手競ふ神田祭や勇み肌々 神田明神の大祭は五月十三日から五日間で山王祭と共に江戸時代には天下祭と呼ばれたもので、「神田祭」は其祭禮の賑ひを見せたもので本名題を「〆能色相圖」（しめろやれいろのかけごえ）と言ひ天保十年九月に江戸河原崎座の二番目大切として初めて上演されたときは訥升（五代目宗十郎）の手古舞浮世與之助、海老藏（七代目團十郎）の上總介と祭の手古舞三筋鬮五郎、榮三郎（四代目菊五郎）の傾城九重太夫と祭のねり子おせん等に淸元は二代目延壽太夫、榮壽太夫、志喜太夫、三絃が齋兵衛、一壽、德兵衛で當時江戸中を湧したものである、今回、新京興行では「神田多町神酒所の場」一幕を淸元宗家たる淸元梅吉、梅壽太夫以下淸元連中の出演に吉之丞（鳶頭千太）團之助、鳶頭萬吉）辰右衞門（同鶴三）、吉之進（鳶の者千代吉）吉兵衛（同五郎次）、千鳥（同傳次）と神田祭らしい威勢の良いところがづらりと並び、これに手古舞は又五郎、辰之丞、時之丞、吉彌などを配して粹な舞台を見せてめでたく大喜利と言ふ譯である

好評を博してゐる 矢野サーカス
……朔十時から連續開演

日本橋詰埋立地に四千人收容の大テント劇場を設け十四日から華々しく開演した矢野サーカス團はすばらしい人氣をあつめ、毎日連夜大入をつゞけてゐる、花の如き少女連のレビュー十二景、觀客の手に汗をにぎらせる空中の曲技、猿の自轉車乘り、オットセイの珍藝、大中小の象の曲藝、本水使用の浦島太郎數景、浦島が龜を助け、漁夫とあらそひ、水中に飛び込むと間もなく少しも濡れずに長上下で水中からセリ上つたり、空中を大龜の背に乘つて龍宮に遊ぶところ、玉手箱を貰つて歸り蓋をあけると忽ち白髮に變るところなど、絶妙な機械體操、針金渡り、最後が大鐵籠中で男女二人がオートバイの曲乘りなど終始目先を變へて間斷なく續演、大人も小供も大よろこびである【浦島太郎の一場面】

軍國日本の二映畫 獨伊全土へ上映

從來日本映畫の海外進出といへば在外邦人間に上映される程度であつたが、愈々海外一般市場へ、而も二作品が堂々と上映される事になつた快報……過般ヴェニスの國際映畫コンクールに芽出度く初入選して、宣傳大臣賞を獲得し、日本映畫界のために萬丈の氣を吐いた日活映畫「五人の斥候兵」は昨年未完成と同時に東和商事が海外配給權を獲得し、同社代表川喜多長政氏が去る六月渡歐に際し携行したが、コンクール入選後日本軍人の眞面目を描いた同映畫は更にボッダイ文相及びパウルッチ侯を感激させ、これを全伊太利國民に見せやうといふ機運が濃厚となり、遂に伊太利全常設館へ配給が決定した旨滯歐の川喜多氏から同社へ入電があつた、尙川喜多氏が同時に携行した「東洋平和の道」も獨逸で試寫の結果、非常な好評を博しトビス映畫社の手で全獨逸に配給されることになつた旨入報があつたから、これで軍國日本の二映畫が同時に防共獨伊兩國の銀幕を飾る譯である

浪曲コンクール

第一回素人浪曲コンクールで最近大都映畫「大前田英五郎」の浪曲トーキー吹込を行つた新人髙橋貢を發見した光榮社主催の第三回コンクールは八日から三日間東京で催され廿八名の天狗連が競演の結果第一席は虎造そつくりの竹野國太郎君と云ふ樂屋の外交員、二席は雲月張りの器用さを買はれて松坂屋店員の桑原政行君、三席は米若崇拜の米屋小川信夫君が入賞しいづれも今後同社付屬の研究所へ入所し次期優勝者戰を目指しあわよくば一足飛びに玄人界へと張り切つてゐる

サボテン

喫茶中央のひろ子クン、お客さんの暇なときボックスの片隅に立つてジーッと放心した如く空間に焦點のないうつろな眼を据えてゐたが▼「私つまらないワ」とつぶやいた、仙人掌子は聞き逃がさなかつた、そして彼女の手から紙片をとつてみると何んとそれは彩票の當選番號票であつた▼はかなく消えた一萬圓の夢だが彼女のつまらないのは彩票だけではなかつた樣だ▼やはりこゝの美代子クンむつゝりした男が好きだそうだ、おしやべりは嫌よ、彼女はそんなことをさゝやいてゐた

雜音

十五日秋祭り各館の本興行の揚りは銀座キネマが筆頭で一、六〇〇圓を突き、長春座豊劇が共に一、一〇〇圓、新キネが少し落ちて五〇〇圓といふところ、朝日座は三〇〇圓台▼帝キネは詳かではないが猛獸映畫「ボルネオの怪獸」が意外に客足を呼んで盛況を見せた、但し映畫そのものは實にハッタリだけの代ものゝ、遂に二日目からはトリに据ゑることを遠慮した▼入場員數から言へば依然こゝでも容器の大きい豊劇がものを言つてをり、これまでと比較して祭日の客足が舊附屬地街にのみ集中されないことに時代の推移が見られ、この劇場の安全感の增大を物語つてゐるものと言へやう

閏九月七日 舊七月廿五日 十八日 日曜 癸丑 先勝 定 房宿

東京・本郷・神誠館

●一白の人 この日爭を生ずる時は永く解決せざるべし 午と辛と癸が吉
●二黒の人 不振の如く見ゆれども勉め次第にて發展す 卯と未と丑が吉
●三碧の人 才をのみ恃むときは末遂に鈍物に劣るべし 丙と庚と辛が吉
●四綠の人 基礎を固め搾らぬとも粘ばり强くするが吉 丁と辛と乾が吉
●五黄の人 物事急には運ばざれども末遂に成るべき日 甲と卯と乙が吉
●六白の人 進むに秩序あれば任は重くとも果す事を得 辰と巽と丑が吉
●七赤の人 目先きを捨て大局に着眼して働けば大勝利 辰と未と丑が吉
●八白の人 目下の事に口を出して辛勞する事有るべし 甲と卯と乙が吉
●九紫の人 外にのみ走れば内は手薄となり破れを生ず 未と壬と丑が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 營業局專用
發行人 十河　忠
編輯人 松本榮勇
印刷人 水越內之介

史河破れ商城又失ひ 敵作戰全く覆る
漢口北部戰線大混亂

【商城十七日發國通】今藤部隊に引續き商城縣城に入城した古閑、馬場、山田、大須賀、唐澤の諸部隊は息つく暇もなく敗走の敵を急追、十六日日沒早くも縣城を去る西方三里西客廓山の線に進出した、一方方家集より進撃、道を西南にとり途中管家店等の陣地を突破、十六日早曉商城東北の敵抵抗據點蘇山石を占領後、將軍嶺、孤山等重疊たる峻嶺を越えて商城東南側に進出した里見、兩角、横尾の諸部隊は、商城よりの敵敗走部隊を西方に壓迫撃滅した、さきに史河西岸の抵抗線に破れ又商城を奪取された漢口北部戰線の敵軍は根柢から抗戰策戰を覆へされ收拾すべからざる大混亂を來してゐる

武穴の陥落により 武漢防衛陣に大龜裂

【武穴十七日發國通】武穴は九江陥落以來武漢防衛の江上方面における第一線に當り十五サンチ級の火砲十數門を備へ無數のトーチカ陣地を設けて陸上をかためてゐた、また江上には無數の機雷を敷設してわが軍の溯江進撃を阻まんと必死の抵抗を試み對岸馬頭鎭と共に長江戰線における鐵桶の堅壘であつた、同地の陥落によりわが溯江艦隊の活躍はこゝに一段の飛躍を來すべく長江の武漢防衛陣に大龜裂を生じ敵は致命的打撃を被るにゐたつた

二萬の敵軍撃碎
商城戰果 一番乘は兒玉部隊

【商城十七日發國通】敵の北部漢口防衛線の據點商城々頭高く感激の日章旗を飜した殊勳の一番乘部隊は兒玉義雄部隊勇士である

【商城十七日發國通】去る十三日以來方家集より商城に至る延長六里に及ぶ商城東側の堅固なる縦深陣地においてわれに抵抗した敵は中央直系八十八、六十一兩師のほか百十三、百十四、三十四、三十一、二十七等の數ヶ師約二萬である

避難民續々歸還

【商城十七日發國通】十六日皇軍力攻の前に脆くも陥落した商城の縣城は大別山系東北に位し、高原地帶の中心として戰前の人口約五萬であつたが、東側高地に立つて望見すればなだらかな丘陵の上に丈餘の城壁と碧水を堪へた濠に圍まれ遥かに冠鳳頂、東客廓山等大別山系の連峰を背負ふ商城は正に一幅の畫景である
十五日午後鄧家集主陣地に於て潰滅的な打撃を受けた敵はわが猛撃に城壁に據つて抵抗する餘裕も無く潮の引くが如く城內にあつた殘留部隊と共に西方に向つて潰走し、激戰を豫想された商城も殆んど刄に觸らずして占領したので城壁や各樓門も戰火を免れ、そのまゝ殘つてゐる、住民は支那軍のため早くから城內を追拂はれて猫の子一匹殘つて居ない、城內は相當長期に亘つて宿營した支那軍のため洗つた樣に掠奪し盡されて居り、馮治安の司令部となつてゐた城內中央の第一小學校は彼の監禁說を裏書する樣に書類、器具が散亂しみじめな情景を呈してゐた、十六日わが占領と同時に陸續と入城し來る皇軍によつて死の街商城は忽ち生氣を取戻し十七日朝來そぼ降る雨の中を早くも避難民は三々五々と歸つて來つゝある

商城攻略の皇軍兩部隊長 感激の會見

【商城十七日發國通】十七日午後三時〇〇部隊長は商城先陣の〇〇部隊長を城內宿舍に訪問し、商城攻略に相協力した兩將軍は感激の會見を行つた、席上先陣〇〇部隊長は「わが部隊の商城攻略は〇〇部隊の史河西岸における頑敵三萬の潰滅戰に引續き商城東南地區に對する共同攻撃の賜物である」と同部隊の勞苦を謝したるに對し〇〇部隊長は鄧家集堅陣を强行突破した先陣部隊の勇戰を激賞し劇的情景を描出した

わが巨砲鈎瓶打ちに 潼關驛粉碎
隴海線の晝間運行を中止

【石家莊十七日發國通】風陵渡附近にあるわが砲兵は巨彈をもつて對岸潼關の主要陣地施設を次々と爆破しつゝあるが、十六日遂に潼關驛構內を完全に破壞し、ついで風陵渡對岸七里村附近を西行中の列車を運轉不可能に陷らしめ、同日午後には西王村、東王村附近に侵入し來つた敵を掃蕩するなど正確無比なわが砲兵の威力を遺憾なく發揮した、これに對し敵は時として重砲をもつてわれに應戰し來るも照準不正確でわが砲撃の比にあらず、對岸潼關附近は今やわが巨砲の的確なる鈎瓶打ちに全く色を失ひ一大混亂に陷り、その動搖狼狽の樣は對岸からあり〳〵と看取される、なほ隴海鐵道はわが砲撃を恐れ十六日より晝間の運行を中止してゐる

チエコ問題解決は 人民投票による
英佛、チ說得に乘出す

【ロンドン十六日發國通】英獨巨頭會談により歐洲政局は全く新段階に入つた觀があり今後の動きは英佛が人民投票によるチエコ問題解決に肚を極め、ついでチエコ政府の說得に乘り出す順序だとの觀測が有力である、すなはちヒトラー總統はチエンバレン首相に對し
一、民族自治の原則による以外ズデーテン問題の決定的解決は出來ぬ
一、現にズデーテン地方は內亂狀態にあり至急解決されねばドイツ軍としては何時ドイツ人同胞救濟に乘り出さねばならぬかも知れぬ
旨を强調したといはれチエンバレン首相もこれを考慮、官邸に歸着するとゝもに直ちにランシマン卿を交へ政府首腦と協議を遂げ、ついで十八日乃至十九日ダラデイエ佛首相及びボンネ佛外相をロンドンに迎へて兩國の共同對策を協議する豫定である、而して英佛兩國政府現在の解決案は略々次の如きものと傳へられる
一、チエコ國境地帶におけるドイツ陸空軍の動員解除及びチエコ軍增援部隊の撤收
一、「チエコ市民かドイツ國民か何れを希望するか」との形式で二ヶ月以內にズデーテン地方に人民投票を施行する
一、選擧の施行に際してはズデーテン地方に國際警備隊を派遣治安の維持に當らしめる
一、新國境線については英獨佛三國政府が保障を與へチエコを事實上中立化する
一、他の少數民族に對する保障
一、英佛兩國政府からチエコに對し經濟的代償を與へる
右提案に對しチエコ政府が相當難色を示すことは勿論で、その折衝中に不祥事が發生すれば如何なる事態を惹起するか豫測を許さないが、英佛兩國政府としては各國の動搖を阻止するため以上の方針で解決に努力すると見られる

絕對に贊成し得ず
チエコ正式に反對

【プラーグ十六日發國通】チエコ政府鐵相兼首相代理ルドルフ・ベチエニ氏は十六日ズデーテン地方の人民投票案につき左の如く正式に政府の反對態度を表明した
チエコ政府はズデーテン地方の歸屬を如何なる形式にせよ人民投票によつて決する案には絕對に贊成し得ない、人民投票は戰爭への近道に過ぎないだらう、世界の指導的諸國殊に英、獨間にズデーテン問題解決につき如何なる諒解が成立しやうともチエコ政府は自國の領土分裂を絕對に許容し難い、チエコ國民は自國の領土を分裂させるよりは寧ろ死を選ぶ固き決意を有してゐる

陸軍機活躍

【上海十七日發國通】中支軍十七日午前十一時發表
一、十五日夜瑞昌西方約三十五キロ南北線に進出せるわが地上部隊は十六日朝來敵の體勢崩るゝ隙に乘じ猛攻の手を緩めず標高八百米以上の山岳地帶を登攀跋涉し逐次抵抗する敵を攻撃中なり
一、わが航空部隊は終日間斷なく敵の前線及び後方要地を攻撃しつゝ密接に地上部隊に協力せり
一、瑞昌西方戰線 釘宮部隊は隊長以下終日敵の頭上を飛翔して、敵體勢を逐一地上部隊に報告しその攻撃指揮に協力せり、吉田・高橋・服部、中國各部隊は終日連續的に敵の前線地及びその砲兵陣地を爆撃掃射し直接わが第一線部隊の突撃に協力せる外敵陣帶後方における要點馮家舖、橫港灣、陽新等を爆撃し敵の江東司令部を覆滅し後方部隊並に集積軍需品を潰滅せり、又寺田部隊は陽新、大冶及び漢口南方地區の制空に任じありしが、敵の戰闘機數機長沙方面より北上するを發見午後一時半頃武昌、漢口、孝感を急襲せるも敵機は既に遁走し敵影を認めず、十七日黎明再び漢口方面に敵の航空部隊を認めて出動せり
一、商城、光州戰線、商城攻略に協力中の秋山、竹田の各部隊は商城々壁に據る敵を爆撃掃射し城內の迫撃砲陣地を求めてこれを爆破し地上部隊の突撃に協力せり午前九時戰車隊を先頭としてわが突撃部隊の城內に突進するを見る、又衣川、秋山の各部隊は光州攻撃部隊に密接なる協力をなせり

海軍機中南支で活躍

【上海十七日發國通】艦隊報道部正午發表＝中支方面において海軍航空部隊はその全力を擧げ遡江部隊及び陸軍部隊の作戰に協力、江北江南岸全線に亘り敏速果敢なる爆撃を實施し地上部隊の進撃に策應多大の戰果を收めたり
一、平田中尉、荻野少尉、酒井航空兵曹長及び木村航空兵曹長等の指揮する攻撃部隊は主として武穴及び田家鎭附近地上部隊に協力して敵據點部落及び敵密集部隊を反復攻撃し多大の損害を與へたり
一、安延少佐、森田大尉及び河野航空特務少尉の率ゐる〇〇機は長江南岸瑞昌、陽新間山岳地區一帶に亘り動搖する敵に爆撃を敢行その進出を阻止せり
一、なほ〇〇機編隊は木石港黃土橋、大楓林、沙月齡等における陸軍部隊前面の敵を衝き部落數ヶ所に火災を起さしめ敵の大部隊を潰滅した、わが方被害なし
南支方面は先日來の荒天回復し左記を爆撃し交通路遮斷に大なる效果を收めたり
黎洞南方線路數ヶ所を切斷せり、橫石南方鐵橋に大損害を與へたり、源潭南方線路數ヶ所を切斷す

滿鐵北支事務局の 職制改正人事異動
正式發表

滿鐵北支事務局では最近に於る北支の事態進展とそれに伴ふ治安の恢復により同地の鐵道が從來の軍事輸送機關から經濟開發機關としての使命をも帶びることゝなつたので、その職制を改正することゝなりさきに現業機關についてこれを行つたが、今回更に事務局自體の組織を改正することゝなつた、新職制は北支に於る運輸の特殊任務、產業開發等の特殊事情を考慮して編成されたものであるが、これと同時に滿支兩鐵道の密接不可分の關係を考慮されてゐる、新組織は左の如く一局、九部一委員會、一事務所より成りこのほかに參與、監察を置いてゐる
企畫局、總務部、人事部、經理部、調査部、運輸部、水道部、工作部、工務部、警務部、輸送委員會、中央鐵路學院、自動車事務所（運輸部管下）

首腦部人事異動

（元北支事務局長）參事 杉　廣三郎
北支事務局副局長兼北支事務局長代理、同企畫局長、同工務部長事務取扱を命ず
鐵道總局次長 參事 山口　十助
北支事務局副局長兼同總務部長、同經理部長を命ず
鐵道總局人事課長 參事 沖田　迅雄
北支事務局人事部長を命ず
（元北支事務局參與）參事 伊藤　太郎
北支事務局調査部長を命ず
營業局長 參事 佐原　憲次
北支事務局運輸部長、同水運部長を命ず
（元北支事務局運輸班長）參事 芳賀千代太
北支事務局運輸部次長兼同配車課長、同運轉課長を命ず
（元北支事務局營業班長）參事 小池　文雄
北支事務局運輸部次長を命ず
錦州鐵道局長 參事 太田　久作
北支事務局工作部長兼同輸送委員會委員長を命ず
（元北支事務局調査役）參事 加藤　胤義
同 永井　三郎
同 落合　兼行
同 阿部　勇
同 伊藤　清
同 三上　安美
調査役副參事 星田　信監
同 本多　重雄
北支事務局調査部調査役を命ず（各通）
（元北支事務局參與）參事 田中　洌
自動車事務所長兼運輸課長を命ず
（元北支事務局參與）參事 竹森　愷男
自動車事務所總務課長を命ず
參事 八木沼丈夫
北支事務局警務部次長を命ず
北支事務局警務部次長 八木沼丈夫
警務部長代理を命ず
北支事務局包頭在勤 副參事 太宰松三郎
包頭公所長を命ず

本社並に總局關係

滿鐵機構改正に伴ふ本社ならびに鐵道總局關係人事異動は十七日左の如く發表された
鐵道總局文書課長 參事 青野　誠
總裁室監理課長兼總局監務課長を命ず
經理部主計課長 參事 木村常次郎
經理部次長兼同主計課長事務取扱を命ず
經理部會計課長 參事 田中　工
經理部庶務課長兼務を命ず
總裁室庶務課長 參事 有賀　庫吉
鐵道總局庶務課長兼務を命ず
總裁室文書課長 參事 高田　精作
總局文書課長兼務を命ず
總裁室弘報課長 參事 松本　豐三
總局資料課長兼務を命ず
總裁室人事課長 參事 人見雄三郎
總局人事局長心得兼務を命ず
（元鐵道總局人事課）副參事 草ヶ谷省三
總局人事局人事課長を命ず
哈爾濱鐵道局總務課長 參事 古賀　叶
總局人事局養成課長を命ず
總裁室人事課調査係主任 副參事 安部　愼一
總局人事局調査課長を命ず
（元鐵道總局保健課長）參事 千種　峰藏
總局人事局保健課長を命ず
（元鐵道總局福祉課長）參事 神崎　登
總局人事局厚生課長を命ず
經理部長參事 大垣　研
總局經理局長兼務を命ず
（元北支事務局總務班長）參事 菊田　直治
總局經理局會計課長を命ず
錦州鐵道局經理課長 參事 日高爲三郎
總局經理局調度課長兼用度部計畫課長を命ず
營業局貨物課長 參事 諸富鹿四郎
總局營業局長代理兼務を命ず
總局參事 關　弘
總局營業局旅客課長兼同旅館課長を命ず
（元鐵道局水運課長）理事 佐藤
水運局長事務取扱を命ず
參事 西村　實造
水運局水運課長を命ず
（元建設局築港課長）參事 桑原　利英
水運局築港課長を命ず
（元營業局自動車課長）參事 田中　孝平
自動車局長を命ず
新京支社鐵道課長 參事 濱田　有一
自動車局營業課長を命ず
（元營業局自動車課）參事 小川　久門
自動車局技術課長を命ず
工作局工作課 參事 吉野信太郎
工作局工作課長を命ず
建設局計畫課 副參事 西畑　正倫
建設局計畫課長を命ず
參與 參事 神守源一郎
附業局長心得を命ず
（元總局產業課長）參事 門間　堅一
附業局產業課長を命ず
地方部殘務整理委員會常任委員兼地方部殘務整理委員會委員長 參事 新井靜二郎
附業局土地課長を命ず兼務如故
營業局旅客課 參事 福士　尙志
附業局受託課長事務を囑託す
建設局機械課長 參事 九里　正藏
鐵道總局勤務を命ず
工務局建築課 參事 宇木　甫
奉天鐵道局副局長を命ず
吉林鐵道局總務課副課長 副參事 坂田　謙二
奉天鐵道局總務課長を命ず
奉天鐵道局副局長 參事 狩谷　忠麿
大通工事事務所長を命ず
奉天鐵道局副局長 參事 鈴木　長明
錦州鐵道局長を命ず
東京支社鐵道課長 參事 石關　信助
錦州鐵道局總務課副課長を命ず
齊々哈爾鐵道局經理課長 參事 小池　紀策
錦州鐵道局經理課長を命ず
鐵道研究所調査役 副參事 中田　健吾
錦州鐵道局營業課長を命ず
新京支社庶務課長 副參事 村田　稔
吉林鐵道局總務課副課長を命ず
鐵道總局監察 參事 大里甚三郎
牡丹江鐵道局副局長を命ず
總局文書課 副參事 本多　韶
哈爾濱鐵道局總務課長兼北滿鐵路殘務整理事務所長を命ず
總局庶務課長 參事 門野　昌二
哈爾濱鐵道局營業課長を命ず
經理部庶務課長 副參事 大山　壽
齊々哈爾鐵道局經理課長を命ず
北鮮鐵道事務所經理課主計係主任 副參事 木阪規矩三
北鮮鐵道事務所經理課長を命ず
理事 中西
鐵路學院長事務取扱を命ず
哈爾濱鐵道學院副學院長 參事 朝日　直樹
鐵道學院副學院長を命ず
總局監察 參事 高澤公太郎
哈爾濱鐵道學院副學院長を命ず
鐵道研究所 副參事 吉田　信治
總局監察を命ず
（元北支事務局弘報班長心得）副參事 水谷　國一
調査部資料課長を命ず
調査部庶務課長兼資料課長 參事 山岸　守永
兼務を免ず
鐵道研究所調査部 副參事 小宮　倚次
東京支社鐵道課長を命ず
總裁室副參事 井上　濱介
新京支社庶務課長を命ず
錦州鐵道局營業課長 參事 片桐　愼八
新京支社鐵道課長を命ず
（元北支事務局警務班長）參事 富永順太郎
參與兼北支事務局警務部警務課長兼同保安課長北支事務局參與を命ず
經理局長參事 市川　健吉
監察役（首席）兼總局監察を命ず
經理局會計課長 參事 上田　水足
監察役兼鐵道總局監察を命ず

偶語

プラーグ駐在の關係各國公使が事態の急惡化を懸念して極力自重を求めたがチエコ政府は之を一蹴し▼ズデーテン・ドイツ黨の突擊隊を解散するに決し全國警察に對し同隊解散の權限を與へ▼同時にボヘミア地方政府は住民全部に對し祕密裡に保有せる武器彈藥を全部十四時間內に政府に引渡すやう嚴命を發したと傳へらる▼之により事態は最早和平解決は望み薄き狀態に立ち至つた▼廿日の英佛首相とヒトラー總統の會見は如何なる結果に落ちつくか▼雨か風かかゝつて此一事にあるかに見へる▼我海軍陸戰隊は十七日午前八時卅分武穴要塞を陥れ完全に占領す▼武漢三鎭に日章旗の飜るは仲秋明月の頃か▼今日忠靈塔秋季大祭在滿邦人悉く塔前に衷心よりの感謝を捧げ

祝町消防署長 橋國氏退職

十七日首都警察廳職員中左の如く異動發令あつた
祝町消防署長 警正 橋國　三一
依願退職（九月一日附）
警佐 小倉岩吉（順和署）
祝町消防署勤務を命ず（九月十六日附）
前祝町消防署長橋國三一氏は合同時局克服の突擊隊として結成されることゝなつた協和義勇奉公隊長として就任のため警察界から退くことゝなつたものである、氏は廣島縣の產砲兵大尉昭和八年九月豫備役に編入後直ちに渡滿大連市役所を振出しに同九年五月滿鐵新京地方事務所消防隊監督として國都消防界に身を投じ昨年十二月附屬地行政權移讓と共に消防署と改編され初代署長として今日に至つたが、敏速果敢優秀を誇る吾が消防隊として今日あらしめたのは一に氏の功績に負ふところでその退職は惜しまれてゐる

惜しまれる 支社から榮轉の 村田、濱田兩氏

北支事務局新職制による滿鐵社員の劃期的大異動は十七日發表されたが、新京支社よりは庶務課長村田稔氏の吉林鐵道局總務課副課長、鐵道課長濱田有一氏の總局自動車局營業課長榮轉の二人のみである
▽村田庶務課長は昭和十二年十月菅野誠氏の後を襲つて庶務課長の椅子について以來多事多端なる地方行政移讓前後における難局に際し轉出社員に些かの不安も抱かせず出ては山口支社長のよき女房役として複雜なる國都關係機關との間も極めてスムースに鮮やかなる手腕を振ひ社員間には明朗青年課長としての信頼を一身に集めてゐただけに今回國都を去ることは社內外より痛く惜まれてゐる
▽また濱田鐵道課長は昭和十一年十月一日新京事務局初代鐵道課長として着任以來足掛三年間準本社としての支社の使命達成に敏腕を振ひその功勞からず、一方國都武道界に貢献せることも見のがせない、なほ庶務課長に任じられた井上濱介氏は昭和三年入社東京支社庶務課人事係主任を經て歐米留學一ヶ年半昨年歸朝したばかりの新進であり、鐵道課長に就任した片桐愼八氏は滿鐵生へ抜きの鐵道マンである

社說 支那舊軍閥の問題

事變一周年の經過に徵して大體において支那軍閥の統制が保たれて來て居り、擧國的に抗日に固まつて來てゐるのは異とすべきであらう。格別地方雜軍と中央直系軍、共產軍、それらの間の統制さへもが取れて居り、大體において中央の命令に服從してゐると見られるのである。これには一つの根本的な理由があると思はれる。

それは何かといへば、新生支那に在つては必ずや一掃的な裁兵が行はれるであらうと豫想されること、そして支那軍に代つて日本軍が防衞の本務を執るであらうと考へてゐること、支那としては中央若くは地方自治政權に統制された警察保安隊に改編された軍隊だけが許容されるであらうと考へてゐること、かゝる事情から現在の軍閥はいづれも從來の權勢威福を壟斷し得ぬといふ絕望心理からして日本に抗し、新政權の發生を阻止する行動に出てゐると思はれるのである。蔣介石自身さへもがその專制的地位と宋夫人一家一門の財的勢力とを利用して三億元に上る蓄財を外國銀行に預けてゐるとさへ外國の支那通は觀測してゐるのである。他の軍閥頭目等が一度その財的據地を奪はれると河南、山西の一僻村で匪賊的生活を送つてゐる閻錫山のやうにならざるを得ぬのも當然なのである。彼等軍閥は結局野垂死をするまで抗日は止めず野垂死よりはましと思ひ直して歸順してもまた他から煽動されると忽ち寢返りを打つといつた有樣である。これらの點に今後の支那肅淸工作の困難が豫想されるのである。

廣西派の白崇禧や李宗仁等についても同樣である。たとへ彼等を中心の新自治政權が認められる場合があるとしても、彼等が在來のやうに民衆を搾取したやうな惡どい政治は認められるものではないのである。新政權には地方自治のそれにも顧問府が設けられるであらう。その顧問に限まれてゐては彼等の惡をなし遂げることが出來ず、彼等には日本の府縣知事のやうに年俸幾許で縛られるやうな仕事は可笑しくて馬鹿臭くて出來るものではないと考へてゐるに相違ない。いかに裁兵したからとて舊部下は泣き付いて來るであらうし、大家族をまで裁兵は出來ない。そこで從來賄賂が公然と行はれ、搾取も公認されてゐたのである。でなければ家族中の男でも女でも家長の勢圏內の役所で使つてやるといふ狀態であつたのである。これは支那の家族主義の長所でもあり、短所でもあつた。

今後、新政權下においては事態は全く異らねばならぬ。將領達は別としてその部下であつた多數のものに適當な仕事を敎へてやらねばならぬ。今後の面■な問題の一つなのである。

在支邦人に對する 復興資金貸付開始
上海、南京、青島、北京、濟南、芝罘

【東京國通】在支邦人の業務復興資金二千萬圓の貸付けは既報の如く正金、鮮銀、臺銀、東拓を通じ十六日より實施されたがその貸付け條件は左の如し

一、貸付期限 五ヶ年据置後十年間に年賦で償還する
一、貸付利率 最初の五ヶ年は年三分四厘で据置き、期間經過後は年四分とする
一、貸出し地域 目下のところ上海、南京、青島、北京、濟南、芝罘に限られてゐるが今後の情勢により擴大する

海外貿易額 上海海關發表

【上海十六日發國通】海關發表によれば八月中の上海港海外貿易額は（單位千元）

輸出 二一、一四〇
輸入 二〇、七七三
計 四一、九一三
差引出超 三六七

で前月に比し輸出において一〇七二千元を增加輸入において三、四四七千元を減少してゐる

煖房用石炭の需給對策

【京城支局】總督府では多季を目前に控へて煖房用石炭の需給對策に大童となつてゐるが、石炭の補助燃料たる煉炭製造原料は此の程その割宛を終つた、然してピッチ割當數量は約一萬トンで煉炭約十萬トンを製造し得る豫定であり大體前年度割當と大差なきも今後石炭の補給さへ順調に運べば需給圓滑を豫想され、炭價の暴騰も防止し得べく總督府當局では觀測してゐる

石油工場で 優秀代品製造

【京城支局】時局下の金屬類販賣及び使用制限で之れが代用品製造に躍起となつてゐる秋、咸北永安及び阿地吾の兩人造石油製造工場でこの程これが副產物としてベークライトと稱する優秀代用品の製造に成功目下各方面で試驗的に使用中であるが新製品は齒車其の他各種機關部の部分品として使用し鐵鋼類と何等遜色なきのみか耐久力亦强く製造會社では今後軍及び總督府と連絡をとつて大量製造して一般の需要に應ずることとなりその成行は期待されてゐる

藥品小賣標準價格決定

【東京國通】關東並に近畿の醫藥品小賣價格自治統制委員會においてはさきに卅五品目にわたる藥品について小賣標準價格を決定したが、さらに今回五十四品の藥品について小賣標準價格を決定、厚生省衞生局長の名をもつて各地方長官宛通牒を發した、今回決定の小賣標準價格は現在の市價に比し平均一割四分の低減、例へばアスピリン五割減テレビン油の四割五分減であつて十月一日より施行される

秩序回復で 中支向荷動活潑

【東京國通】中支の秩序回復に伴ひ上海向渡航客ならびに貨物の荷動きが活潑を極め來つたので日本郵船では現在サンフランシスコ航路に就航中の巨船太洋丸（一四、四五七噸）を上海航路に定期配給するに決定、同船が本月末神戶に歸着後直ちに實施する筈で航海數は大體二回航海である、同社はこれに引續き來月初め現在南米航路に就航中の墨洋丸（八、六一八噸）を上海航路に臨時配船する模樣である

大連埠頭における 滯貨狀況調查
當局第二段の處置を講ず

大連埠頭滯貨處理に關し滿洲國產業部、關東州廳では過般談話の形式にて重大發表をなしたが關東州廳並に滿洲國產業部では之が反響の實狀並に大連埠頭に於ける本月十日以後の滯貨狀況を詳細調查し更に第二段の處置を講ずることになつた

準急行制採用
急行車輛輳緩和

鐵道總局では既報の如く日滿支交通連絡の緊密化に備へ來る十月一日全滿鐵道ダイヤの大改正を斷行することゝなつたが、右改正を機會に急行列車の輻輳を緩和するため新たに準急行制度を採用、現行奉天、京城間の第五、第六兩列車及び大連、奉天間第二五、第二六兩列車に適用することゝなつた、この準急行は滿鐵最初の試みで急行券を支拂ふことなく乘車出來ることゝなつてをり、旅行者にとつて多大の福音と言はねばならぬなほこの準急行制度採用により第五、第六兩列車は從來に比し約二時間廿五分、又二五列車は卅分、二六列車は五十分をそれ〲スピードアップされる

延吉電業合併

延吉電業會社は親會社たる滿洲電業に合併されることになり、廿日の滿洲電業の總會で決定の上明年一月一日實現の筈である、これによつて間島省一圓に對して滿洲電業より直接配送電を行ひ、延吉には同社の支店、龍井、圖們、琿春にはそれ〲出張所が設けられる豫定である

十月一日から 保險報國週間

郵政總局では去る十五日の承認記念日を期して協和會が全國民に呼びかけた富家强國運動に呼應して、大々的に郵政生命保險加入奬勵に積極的に乘り出すことゝなつたが、特に同保險創始一周年記念日たる十月一日より一週間を「保險報國週間」としてその間ポスター、立看板、記念スタンプ、ラヂオ放送、保險標語募集、映畫と講演ニュース映畫作成等の方法で大々的宣傳を行ふこととなつた

更に優れた 官公吏の養成
各職員養成機關の機構改組

政府では各部機構の擴大に伴ひ官公吏の養成訓練に遺憾なきを期するため大同學院及各部局所屬職員養成機關の機構及び內容を改組充實することになつた、すなはち大同學院に於ては新に總務（假稱）を設け總務廳人事處長を以て之に充て敎授の充實を圖り主要敎育部門毎に成る可く專任敎授を置くの外、學院外各方面より兼任を充足し、又地方團體の吏員、協和會會務職員又は特殊會社の職員は委託學生として大同學院に編入し得ることゝした、而して現行各部局の職員養成機關は左記要領に依り改組充實しその所屬委任官試補に對しては概ね六ヶ月間基礎的敎育を實施せしむるとゝもに當分の間所屬現職員に對し六ヶ月以內の再敎育を實施することになつた

一、財務職員養成所は中央財務職員養成所と改め甲種委任官採用考試及格者たる部內の委任官試補の敎育訓練及現職員の再敎育に當らしめ地方財務職員養成所を新設し乙種及び丙種委任官採用考試及格者たる部內の委任官試補並に屬員の再敎育に當る
二、郵政職員養成所を中央郵政職員養成所と改め各地郵政管理局所在地に地方郵政職員養成所を新設する
三、司法職員養成所を新設し部內職員の再敎育をする
四、現在の中央師道訓練所は國民學校及國民高等學校の現職滿系敎員の再敎育及び新規採用日系敎員の敎員訓練に當る
五、地籍員養成所は部內の委任官試補の敎育訓練に當る
六、農林技術員の養成及び再敎育の機關に就ては別途に之を考慮する
七、中央及び地方警察學校は文官考試の施行に伴ひ新規採用警察官の敎育訓練機關として警察學校の一般訓育は大同學院が之を統制指導する

なほ所屬の職員養成所を有しない部局のため中央一般職員養成所を大同學院に、地方一般職員養成所を各地に新設して委任官及び試補の再敎育をはかることになつてゐる

暴虐支那軍 井戶中にコレラ菌投入
北支の流行原因判明

【北京十六日發國通】北支各地に未だにコレラが蔓延してゐるが、わが軍防疫當局の研究の結果、暴虐支那軍が卑怯にもコレラ菌を井戶水及び果物を通じてつぎの如き憎むべき所業を敢てしてゐたことが判明した

一、石家莊において七十五個の井戶を檢查せるにこのうち十四個にコレラ菌を發見し、何れも人爲的になされたことが明瞭となつた
一、山東省博山において八月上旬匪賊頭目家宅よりコレラワクチン十數個を發見した、これは同地方に集散する果物に注入しつゝあつたものゝ如く、現に西瓜、まくわ瓜等の表皮に注射針による損傷があるものが確認された

內地品に劣らぬ 大根やポテト
淨月潭の模範農村更に擴充

新京特別市公署では國都建設局と不可分の關係を保ちつつ新市街地の發展擴充と共に

隣接 する農村地區に對しては市街地に新鮮安價、豐富な野菜類を供給し農村の繁榮を圖る爲淨月區の模範農村に日本の優秀な指導員三名を派し種子を配給本年度は試驗的に栽培せしめたが、秋の收穫期に至り滿洲では到底不可能視されてゐた內地大根や北海道のポテト等が物の見事に成長し目下續々市內に搬出されてゐるが何れも內地品に勝るとも劣らぬ優秀なもので飛ぶ樣な賣れ行きを示してゐるが、特別市公署ではこの豫想以上の成績に大いに氣を良くし農村地區の發展に自信を得、來年度よりは更に積極的に農村地區の

發展 に乘り出し、國都の需要は完全にこの農村地區で賄へる樣種々計畫を進めてゐる、取り敢へず淨月區に有畜農業を確立せしめるべく左の如き家畜の改良工作に乘り出すこととなつてゐる

一、豚の改良、鐵嶺より優秀なバークシャ種豚數頭を購入無償で農民に貸しつけてゐるが、近く十數頭の種豚が國都に到着することとなつてゐる
二、雞の改良、白色レグホン百羽購入、來年春雛を各農家に配布する

尙曩に結成された淨月區三屯會に實行組合をつくりこれが統制指導機關として農家組合を組織してゐるが、この農家組合に拉々屯の日本人移民村である力行村が自發的に參加を申し込んで來たが、今後は滿人農家の兄貴分として

指導 の立場に當ることとなり、淨月區の增產計畫に拍車をかけるものとして頗る期待されてゐる

交通協會徽章 圖案懸賞募集

新京交通協會では同會の徽章圖案と交通標語を募集することゝなつた、募集規定は左の通りである

一、徽章は本會を象徵し標語は本會の目的を達成するため行ふ事業を簡易に表示するもの
一、本會の目的及事業
1、交通諸施設の改善
2、交通道德の普及並交通事故防止
3、交通に關する調查研究
4、交通從業員の福祉增進並素質向上
5、交通事故關係者の救濟
一、賞金
「徽章」一等一名三十圓、二等一名十圓、三等一名五圓
「標語」一等一名十圓、二等二名五圓宛、三等三名三圓宛、佳作十名一圓宛
一、締切、十月十日
一、宛所、首都警察廳內新京交通協會

漢口在住者 七十五萬

【香港十六日發國通】漢口來電によれば、武漢三鎭の人口調查は十五日午前零時を期し一齊に擧行、其結果漢口の人口は約七十五萬と算定された

張家口邦人數

【張家口十六日發國通】張家口の在留邦人數は領警の戶口調查の結果八月末現在三千七百八十三名と判明九月末には四千名を突破するものと見られる

防毒面製造會社 新京に設立

滿洲防空協會では十六日午後一時から軍人會館で役員會を開催、康德六年度事業ならびに豫算案につき協議を遂げたが、席上多年懸案の防毒面製造會社を新京に設立する件を可決し、設立要綱を審議中である

武穴は長江中流 屈指の貿易港

【武穴十七日發國通】武穴は九江上流二十五浬の揚子江左岸にあり人口約三萬、舊城壁の一部が殘存してゐる、江西地區より送られる岩鹽の再送港として知られ、また麻の輸出額二十萬兩を越え日本へ輸出するものが大部分である、輸入品としては海產物、砂糖雜貨等で、わが三井洋行、大同洋行は同地に支店を設けてゐる、碼頭としては招商局の大形ハルクの外大古碼頭及び日淸碼頭がある

光州の概貌

【〇〇十七日發國通】わが軍の手に歸した光州城は一名潢川縣と云ひ河南省大別山系の北麓にあつて潢河を中に北城と南城とに分れ人口一萬の縣城で農產物の集散地たるほか織布業が行はれてゐる

喇叭鼓隊も含め 義勇軍來滿

【神戶國通】全國から集つた滿蒙開拓靑少年義勇軍三百卅名は十六日神戶出帆の扶桑丸にて壯途に上つたが、一行は栃木縣の百五十五名をトップに德島縣の四十三名、大分縣の廿八名その他で今回は珍らしく喇叭鼓隊五十四名を含んでをり北滿孫吳に於て開拓事業に着手する

滿江討伐隊奮戰

共匪掃蕩中の滿江討伐隊は、去る十一日〇〇縣〇〇北方山地に於て抗日匪約七十を包圍攻擊し交戰一時間にして匪十三を斃し、小銃五、拳銃五十三を鹵獲しこれを北方に潰走せしめたこの戰闘で北芳夫一等兵（兵庫縣有馬郡本庄村東本庄）は重傷を負つた

ポリテイケン紙記者の 漢口目擊談

【香港十六日發國通】デンマークのポリテイケン紙記者カール・エスケランド氏は十五日午後漢口より香港に到着したが、漢口佛租界附近を撮影中支那官憲に逮捕され亂暴な取調べを受けたことは事實だと武漢の情況につき左の如く語つた

漢口英國租界附近には日本軍の警告にも拘らず嚴重な陣地が構築され、外人側は痛く憤慨してゐる、周恩來は現在でも漢口にあつて蔣介石と共產黨との連絡に當つてゐる樣子だ、蔣介石も共產黨の勢力を抑へるのに苦心してゐる模樣だつた、漢口で一度日本軍の空襲を目擊したが殆んど地上二十米まで急降下し、地上にあつた支那飛行機に機關銃の掃射を行つたばかりでなく機上から手榴彈を投じたのには全く驚いた、ソ聯飛行士の行動は嚴重な規律が保たれその居所なども外部には全然知られてゐない

なほ同記者は數日中に上海に赴く豫定である

四川路街上に 手榴彈爆發事件

【上海十六日發國通】九月十八日記念日を後二日に控へて無氣味な空氣の漂ふ十六日午後五時十分頃上海共同租界日本軍占領區域に接近する四川路橋畔南側ドイツ人工學機械商カルロウイツツ商店の四階建ビル屋上から突然一個の手榴彈が投ぜられ、折柄工場の退け時で雜沓を極めつゝあつた街上で轟然爆發附近通行中の支那人二名即死、五名負傷した、現場はわが陸戰隊、憲兵隊、工部局巡查等により嚴重なる警戒網が張られたが犯人は逸早く逃走した、なほ手榴彈の投ぜられたカルロウイツツ商店は豫てから某抗日テロ團體の巢窟として內偵中のものであり、岩井洋行高岡駒夫（二一）は破片により擦過傷を負つた

伊ポ紙のラ卿宛 公開狀內容

【ミラノ十四日發國通】ポポロ・デ・イタリア紙は十四日紙上にムソリーニ首相の執筆とみられるランシマン卿宛公開狀を發表して注目されたがその內容次の通り

ヒトラー總統唯一の關心事は三百五十萬のズデーテンドイツ人であり、彼は彼等の運命を氣遣つてゐるのだ、貴下はベネシュ大統領に對しズデーテン地方に於る人民投票乃至はむしろチエコ國內の凡ゆる少數民族に對する人民投票を提議すべきである、人民投票と決すればその時期條件及び管理組織の決定が殘る問題であるが、この管理組織はザールにおいて成功した例にならひ國際的組織とするが良い、當面の問題が解決さるれば不安と危險の中心は永久に除去されるであらう、即ちチエコは平和裡に自ら相應の大きさに縮少さるべくこれに依つてチエコは却つて强力且つ安全となり更に一層繁榮する事とならう、イタリーは現在のチエコとは絕對に親善關係を結ぶことは出來ないが未來のボヘミアートは容易に友好關係を確立し得よう斯くして歐洲は戰爭から救はれるのだ、國境線が一本の筆で劃されるか或は貴い血で劃されるか兩者の間には大なる相違があらう

フランコ軍 バルセロナ空襲

【バルセロナ十六日發國通】フランコ軍爆擊機九機は十六日バルセロナを空襲、即死卅名、負傷者多數を出した、その際バウワ號コーレーク號の二隻の英國船にも爆彈命中それ〲船體を破損した

使節團一行 トリノに向ふ

【ゼノア十五日友松國通特派員發】十四日當地に到着した訪伊滿洲國修交使節團一行は十五日午前八時から市內の重要工場を見學した後カルチナの徒弟學校を訪問、五十名の生徒の軍事訓練、マスゲーム見學、續いて午後一時半ミラマーレ・ホテルに於るゼノア府知事主催の歡迎午餐會に出席した、一行はさらに午後三時から市內各所と工場地帶を見學の後數萬の勞働團體の盛大な歡送裡に午後六時五十分特別列車でゼノア出發トリノへ向つた

手形交換高 （十七日）

六三枚 一八〇、七五九、八二

投稿歡迎　中傷不可

馬車の客待に就て

市內映畵館カハネル前頃と、吉野町の夜店を圍む通行禁止札の揭げてある町通り一帶は馬車の大群で步く事も出來ない狀態である、帝都キネマ前は特に甚だしく四角の交叉街まで馬車の連續で全然向側に橫切る事不可能だ、夜店街でも明治製菓の前あたりから四角に出る邊りは最も不統制で馬車は兩側に連並し中には銀ブラ連中の乘り歸る車もあつてそれこそ危くて身動きもとれない狀況を示して居る、金泰角には、よく監視の巡警が見受けらるし、大通方面は街幅が廣いから先づ我慢出來るとしても明治製菓の前のアノ人通りの多い狹苦しい所に兩側連並の醜態は何事であるか勿論馬車の客待ちに就ては警察當局の取締規則がある事と想像されるし、又ある事が當然であるが、當局は一體あの醜狀を知つて居るのか、知らないのか、おまけに道義心に乏しい馬車夫は客さへあれば通行人の危險も何も知らぬ顏であの狹苦しい街の中で馬車の轉回をやる、そしたら最後完全に交通遮斷で進むも退くもならない事になる、幸に未だ大怪我人を出したと云ふ樣の話は聞かないが、あんな始末で怪我人なしと誰が豫想出來やうか、百聞一見に如かず毎晩十時前後あの邊を見廻れば筆者の言を諾く事が出來るといふものだ、取締當局に一言する次第である(街の散步客)

日滿結婚を排す

日本女性の覺醒は、當に眞劍に考慮せられていゝ問題である。併し『自ら滿國人となつてまづ一個の家庭から一體化して國策の線に生きる』爲に日滿結婚が現代女性の覺醒の立場より考へらるべき妥當な問題であらうか。

歷史を同じくし、風俗習慣を同じくする人間同志の結婚にも、如何に多くの問題を含むで居るかを一考して戴きたいものである。

僕は徒らなる意氣と熱のみを以つて他人の生涯の方向を云々する勇氣を缺く者であるが唯曾ての『エチオピヤに嫁ぐ私』てふ女性を日本の女性より再び出したくない希望を熱烈に抱いてゐる者である。

ついでに附言したい一事は近來一部滿系滿洲國民諸君の感傷的放言につれて、日系滿洲國民の頭上に徒らなる漫罵を加へて快しとする人士のあるは僕等の大いに異議を挿みたい點である。

蔑視すべき蔑視し、尊重すべきを尊重し合つてこそ、掛値なき民族協和もあり得べし山田長政氏よ僕等はかくの如き世界を着々實現して行つて居ます。

女性よ!!滿人諸君の生活の充分なる理解以前に同化さるるを警戒されよ。然して充分なる理解は三年や五年で山が見えて來る程度の生易しきものにあらざるべし(一市民)

ダム定礎式
十月三日擧行

第二松花江ダム建設事務所では來る十月三日午前十時よりダム堰堤定礎式を行ふことになつた、定礎の位置は現在假締切內の最下低岩盤の丁度堰堤の中央に當り定礎石は奉天省梨樹縣十家堡產の花崗石で張總理の揮毫「定礎」と彫り込んだ高さ二米、底巾一米四〇で、當日の定礎式に張國務總理以下各大臣、顯官多數參列の豫定である

三江區大討匪
匪團に多大損害與ふ

滿洲國軍は三江省地區に於ける大討匪行を開始したが、討匪狀況左の如し

一、赫崇部隊の主力は十二日午後綏濱縣城東方長勝屯に於て匪首中俠の率ゐる約二百の交戰これを擊破す、この匪と戰鬪に於て馬二頭、小銃彈一三七を鹵獲せり

二、同部隊は十三日午前五時綏東鎭西方十キロ附近に於て更に中俠匪を攻擊これを四散せしめた、敵の遺棄死體五、捕虜三、小銃六、拳銃二、彈藥五五〇を鹵獲し人質四名を奪還した

三、美丈部隊田保隊は十二日午前富錦城南方地區に於て匪首萬勝の率ゆる六〇を攻擊これを潰走せしむ

なほ澤山、赫奎兩部隊も各所に轉戰匪團に多大の損害を與へてゐる

秋空高く球は飛ぶ
本年掉尾野球決勝
今明兩日入場料は獻金

昭和十三年度の國都野球界は別表示すが如く外來チームを迎へ四チーム共互角の成績を以て將に本年の球界を終らんとする時に、本十八、九兩日の秋季トーナメント國防獻金決勝野球戰こそ本年掉尾の球界を飾るものである、先づ午後一時よりの電々對電業の戰を豫想する時電業軍に稍々投手力豐富なる事と守備陣に一日の長を感ずる、併し電々軍は濱崎主戰投手の好投を唯一の賴りとする半面打擊力は電業軍に秀でゝゐる、少くも決して劣つてゐない樣に思はせる、春のリーグ戰及び去る定期戰共に電業軍は電々軍の爲めに敗戰の淚にむせんでゐる點より見て、蓋し本日の電業對電々の一戰こそ國都ファンの血を湧かすに充分な試合を展開する事であらう、尙午後三時より新京倶樂部對滿洲國に就いて見る時、新京倶樂部は更生の意氣に燃えたるも、雄圖空しく春のリーグ戰の霸權は滿洲國軍の爲めに奪はれ又秋の戰に滿洲國と對戰せる事になつた、新京倶樂部は大田原投手の圓熟と老巧高橋投手の妙味により滿洲國を苦しめるには充分なるもナインに年少者多く試合上手に缺けて勝つべき戰を逸する憾がある滿洲國軍は投手陣は充分ならざるも、打擊陣は新京倶樂部よりも秀いでて居り、試合上手の老將を多數に有する點より見て、これまた實力以上の試合する事は過去の戰績が物語つてゐる、何れにせよ帝都四チームの本明日に亘る國防獻金の爲にする秋季爭霸戰こそ、互に猛習を積んだ力を示すものとして、春のリーグ戰よりも實力向上の點より見て國都野球ファンにとつて見逃せない試合である(KN生)

△外來チーム試合成績表

	新倶	電々	電業	滿洲
奉倶		三—〇負	六—〇負	六—三負
昭和	五—六勝	三—〇負	六—〇負	六—二負
四平街				六—十六勝
明治	七—二負	四—五勝	八—二負	不明負
法政	八—一負	二〇—三負	四—〇負	六—四負
タイガース	二—〇負	三—〇負	三—一負	
中央		七—一負		十—〇負
專修	八—一負	一—五勝	三—四勝	五—四負
松山	一—二勝		三—十一勝	
錦縣	二—八勝	〇—九勝		
撫順	二—三勝	一—五勝		二—一負

籃球チームを
今秋日滿兩國に派遣

【北京十六日發國通】早大水泳部、慶大蹴漕部等の天津來征によつて口火を切られた日本と中國とのスポーツ交驩に大きな拍車をかける計畫として新民會體育會は籃球チームを今秋を期して日滿兩國に遠征せしめ、スポーツ親善使節として三國青年の手を確りと握り合せることゝなつた、遠征隊の名は新民會體育會派遣スポーツ親善團、一行は選手十二名、監督二、通譯一、マネージャー一の十六名で、總監督は曾井體育主事、選手は全北京、全天津から選拔された京津各大學の猛者を集め、極東大會選手二名を含み日本一流チームに伍する實力を持つてゐるが十七日から十月七日まで北京市立體育會に合宿して猛練習を續けることになつてゐるから選拔チームとは言へ、相當チームワークを備へたものとみられる、日程は目下大日本籃球協會及び滿洲體育協會と打合中であるが、大體の豫定は十月十五日北京發大連經由で神戶に上陸、大阪一試合(關大)、京都二試合(京大、同大)、名古屋一試合(全名古屋)、東京五試合(早大、東大、立教、明大、慶大又は文理科大學)、仙臺一試合(東北帝大)、京城一試合(普成會)、奉天一試合(全奉天)、新京一試合(全新京)を行ひ、十一月十日頃歸京するものとみられ好試合の興味を織込みつゝ新生中國はじめての日滿遠征とてその成果を非常に期待されてゐる

總督府豫算
概案を決定す

【京城支局】總督府の明年度豫算概案取纏めに就ては八月末を以て締切られたが總督府豫算の大半を占め最も重要視される鐵道豫算概案として自然增收による營業收入を基本として作成されてゐるがそれによれば大體明年度の營業收入の自然增收は一割三分乃至一割五分の見込で本年度の營業費約一億八百萬圓より多少膨脹するものと見られてゐたが時局の關係で膨脹方針をとらず緊縮方針で臨み自然增收の分は物價高による諸材料購入費に補塡することゝなつてゐる、尙は建設改良兩工事に最も入手困難を來してゐる枕木の手當も略々解決したが北鮮地方の水害で又復相當拂底を來す模樣で之に多大補充豫算が必要とされ之を同時に鐵鋼材の割當見透し利かざるため之等に繰り入れる豫算に關し目下審議中である

防共櫻の花園
淺間社境內に植樹

【東京國通】ヒトラー・ユーゲントを迎へ多摩川愛櫻會では來る廿日多摩川畔淺間神社境內にヒトラー櫻を植ゑ既に植樹されたムソリーニ、スタラーチエ、パウルッチ櫻それに東鄕櫻と並んで同境內を防共櫻の園とするとゝもにこれを機會に世界に櫻を植ゑる會を作り全世界に大和魂の花を咲かせることになつた、從來海外に贈つたものでは米國ワシントンのポトマック河畔の櫻が每年爛漫と咲き誇るほかローマ、ベルリンの兩防共首都に櫻の苗木が生長しつゝあり、この櫻を更に世界の花にしようとこの計畫が生れたもの、先づ來春數千本の櫻の苗木を友好國に贈り、ついで每年世界各國に向けて發送する筈である

忠靈塔角、道場で
全滿角道大會
今十八日、選拔力士七十餘

滿洲角道會發會式兼第一回全滿都市對抗角道大會は今十八日滿洲事變記念日をトし新京忠靈塔角道場に於て午前十一時より左記に依り盛大に擧行される、新京を始め奉天、吉林、哈爾濱、撫順、鞍山、錦州、大石橋、蘇家屯、札蘭屯、大連、安東、牡丹江と全滿各省都市から選ばれた力士七十餘名の力戰は時局に即した中堅青年の潑剌さに燃える壯烈さが期待されてゐる、大會順序

▲大會次第

一、着席
二、開會宣言　常務理事　關屋悌藏
三、皇居遙拜
四、國歌合唱
五、忠靈塔參拜
六、創立經過報告　理事長　皆川豐治
七、會長式辭　會長　星野直樹
八、來賓祝辭　關東軍司令部參謀長　協和會本部長
九、選手宣誓
十、審判上の注意
十一、試合開始
十二、優勝旗授與式
十三、閉會の辭　常務理事　關屋悌藏
十四、萬歲三唱　會長　星野直樹

▲蘇家屯　監督藤原孝、長島竹次、川口盛兒、吉崎正三、洋谷晶、齋藤卓士、田中數男

▲撫順　監督日野熊次郎、藤野武、吉田數馬、伊奈久太郎、竹ノ下武雄、德保一正、入口廣次

▲札蘭屯　監督城地良之助、三浦益夫、奈良厚、藤尾映次、岩田孝夫、田中關、酒井大三

▲吉林　監督河本照雄、永田研一、三重野節次、隅田重義、渡邊萬吉、中島元親、湯瀨四郎

▲鞍山　監督堀金太郎、花田秀三郎、小島六郎、宮田繁夫、長野市太郎、高橋義三、野崎市之進

▲奉天　監督十河彌郎、柴田善治郎、竹林義則、矢吹陸郎、高山善次郎、白井正美、巖生滿

▲錦州　監督中村豐吉、上倉廉一、藤村三郎、滿口賢美、堤恒之、飯田誠一、齋藤德巳

▲大連　監督田町由松、古關貞一、高尾喜東、水島篤吉、鬼塚正可、小島幸正、大關與一郎

▲阜新　監督秋田利夫、岩崎、山內東、柴田、安河內、井上

▲哈爾濱　監督大塚巳代吉、相馬常作、宮崎佐市、本間博、三井金太郎、澤田晴一

▲新京　監督古口長三、嵯峨隆、成松澤婆吉、小林藤辰、鈴木忠三、佐藤三良、內濱靜夫

忍苦鍛鍊會
金剛山で講習

【京城支局】十一日から靈峰金剛の長安寺で開講せる總督府忍苦鍛鍊講習會は各道社會主事十三名、全鮮各中等學校幹部五十七名、全鮮小學校長百廿名參集先づ全鮮の社會教化指導者自己が人を導く前に先づ己を導くことに精進してゐるが南總督は開會式當日左の如き告辭を電報して會員を激勵した總督告辭(電文)朝鮮總督に於ける國體明徵內鮮一體忍苦鍛鍊の三大綱領の達成の途は一に教育者信念の確立に在り本總督の本講習會

燃料節約統制
總督府の對策

【京城支局】今回開會の總督府時局對策調査會では液體燃料節約の國策徹底のため石油類の販賣統制強化が討議されて節約徹底と併行して同資源の開拓强化を叫ばれたが、總督府でも同調査會の意見を尊重して今後節約徹底と資源開發の二途に新なる對策を樹立邁進するに至るべき狀勢にあり而して急務中の急務と認められる使用制限取締に關しては制限實施以來の實績に鑑み非檢擧主義より檢擧主義へ轉換し穩健な當面の取締に倣れその蔭に隱れて國策に違反せる行爲を敢行し又はその疑ひ濃厚なものに對して斷乎膺懲の鐵鎚を下し目的達成に强固な態度を持するに至るべき情勢にありて今後の取締りは刮目すべきものがあると觀られてゐる

移民地慰問
協和會で派遣

協和會東滿移民地派遣團一行蔡(中央本部)、金(滿鮮部)、蔡(產業部)の三氏は十六日午前九時廿八分着列車で來延したが、一行は協和會省本部で省公署、縣公署、滿鮮拓植の各關係者と現地慰問方法につき打合せを遂げた結果、約一ケ月の豫定を以て延吉を振り出して安圖、汪淸の各移民地を慰問することゝなつた、なほ省本部より金、省公署より白の二氏が隨行する

水產學校增設

【京城支局】半島水產界の躍進に附隨して人的資源の涸渇は寧ろ想像以上のものあり總督府の水產學校增設乃至高等水產技術員擴充計畫が豫算關係に實現性極めて薄く業界の進展に隨順し得ざる現況に業を煮した民間水產團體ではこれが急速實現を絕叫し各種會合每に水產專門學校建設要望の聲を昂めつゝあるが最近ではこの要望は一層熾烈となり總督府亦この要望を認め殖產學務兩局間で本格的對策協議を重ねつゝあり同施設所要豫算の明年度再計上を拍車づけてゐるから一兩年中には題案解決の曙光を認むべく觀測されてゐる

健兒團入團式

【京城支局】京城健兒團入團式は十五日午後五時から朝鮮神宮大前で擧行、健兒服に身を固めた新團員二百四十名は定刻集合整列し修祓國旗揭揚、玉串奉奠、皇居遙拜、皇國臣民の誓詞宣言及び捉朗讀の後佐伯團長の訓示新舊健兒の挨拶「海行かば」及び國歌を合唱し彌榮三唱して國旗降下の中に閉式

ふるさとだより

滿煙草が大受

臺灣專賣局では事變前における兩切煙草の宣傳に少々藥が效きすぎ煙草饑饉に逢着したので去る七月末から滿洲產「リバイバル」「スピア」二千萬本を輸入したが濕氣の多い臺灣では不向なるにも拘はらず臺灣煙草のため目下不評をよそに大威張り(臺北發)

老兵戰鬪訓練

日淸、日露兩戰役の老勇士達で組織してゐる大阪府下泉北郡南王子村の戰友老士會ではハリキリ戰鬪訓練を實施することゝなり十日臨時召集令一下集つたものは南口親夫(七六)上田若松(六四)と云つた老兵約三十名夫々團服に身を固め胸に名譽の勳章を飾り「老勇士こゝにあり」と颯爽たる姿で猛訓練を行つた(大阪發)

乘合馬車復活

ガソリン節約の國策に順應して觀光遊覽都市奈良に昔懷しい乘合馬車の出現が前市長石原善三郞氏により計畫され數日前極秘裡に縣保安課に出願されたが早くもこの計畫を知つた市內のリキシヤマンは古都獨特の存在である「リキシヤ」の領分を荒すものとして反對氣勢を上げ物すごい對立戰を展開した(奈良發)

コドモページ

軍神・乃木大將の……少年時代のお話

“寒い”と言へばすぐ頭から冷水 嚴格な父の教育振り

大正元年九月十三日、明治大帝神去りまして、悲しみの涙に暮れる御大葬の日、乃木大將御夫婦が俄かにおなくなりになつてから、丁度今年が二十六年目にあたりますので、赤坂新町の乃木神社では、將軍御夫婦の神靈をお慰め申すために盛大なお祭りが擧げられました。記者は皆さんと共にありし日のお偉らかつた將軍を偲びつゝ多くの傳へられた美談の中からその一つ二つをかいつまんで記し、生きた修身のお手本として永くお國のために盡さなければならないと思ひます。

乃木大將のお父さんは「十郎希次」といはれ、山口縣豊浦郡長府町の人ですが、お武士上りのお父さんは、生れつき身體の弱い希典（大將のお名前）少年に、怖いほど嚴格な家庭教育（お家にゐる時の行儀作法）をなさいました。

安政三年の冬、大將が八歳の時でした。ある寒い〳〵冬の朝何氣なく大將が、「お父さま！僕風邪をひいてゐますから、こんな寒い日に塾（學校）へ行くのはイヤです…」と言はれると「よしよし、寒ければ着物を重ねてあげますぞ！」お父さんはさう言つてにが笑ひをされたが着物を重ねて下さるどころか、やにはに大將を素裸體にして裏の井戸端へつれて行き、氷のやうな井戸水を桶にくんで、大將の頭からブッかけました。

「ごめんなさいお父さん！僕の考へが間違つてゐましたから、ごめんなさい〳〵」とガタ〳〵ふるへながら泣いて詫びる大將の頭から三度までも冷水を浴びせかけました。この激しいご訓戒がきいたものか、その後、希典少年はどんなに北風の吹く寒い日でも、決して「寒い！」と言はれなかつたから偉い。希典少年のお家は、決して豊かでなく、わづかに六疊と二疊半と三疊の三間きりでした。が、お武士あがりのお父さんはどんな小ッちやいお家に住つても、着のみ着のまゝの貧しい暮しをしてても、きらびやかな鎧カブト、劍、槍、薙刀などの武具を室一ぱいに飾られてゐました。少年時代の乃木大將はこのいかめしい武具の光り輝くお室で、お父さまの前にキチンと座り、つゝましく膝に兩手をついて、慈愛に滿ちた御教訓を受けたものです。

ヴイクトリア十字を貰つた 勇しい少年鼓手

ミカエル・マグナーの話

これはヴイクトリア十字を貰つた大層勇敢な少年の話しです、ヴイクトリア十字は日本の金鵄勳章に相當するイギリスの勳章で最も勇敢な人に授けられるのです。

ミカエル・マグナーは十五歳で、三十三聯隊の少年鼓手でした。

今から七十一年前エチオピアは非常に亂暴なテオドア王に支配されてゐました、彼は國境の種族の物を奪ひ、彼らの家を燒きました、彼は彼らの家畜を盗み土人たちを奴隷商人に賣りました。

彼はイギリスの牧師たちを捕まへ、獄に投じました、ヴイクトリア女皇は使ひをテオドアにやつて牧師たちを釋放するやうに頼みましたが、彼は拒絶しました。

その代りにテオドアは今度は女王の使ひを牢にぶち込みました、そこで英國はその人たちを自由にするため軍隊を送りました。

紅海の港に上陸した兵士たちは首都のマグダラに向つて四百哩進撃しました。

或る復活祭の月曜、大雨と激しい流れにも拘らず工兵隊は門を爆破する命を受けました、でも爆藥が少くなつたので、彼らは後退しなければなりませんでした。

◇

ミカエルは少數の人々と一緒に眞先に門に達しました、でも八呎もある城壁をよぢ上るのは出來ないことでした。

『僕を押上げて下さい』とミカエルは背の高いアイルランド人にいひました。

彼は敵にみられないで頂上に達しました、向ふ側に下りて彼は下の茂みに隱れました。それから彼は一番弱いところを發見し兵士たちにどこを攻撃すればいゝか合圖をしました、ミカエルの生涯の最も得意な日は彼が英國へ歸つて、ヴイクトリア女皇が彼を招かれた時でした、女皇は彼の胸に最大の榮譽であるヴイクトリア十字を飾つて下さいました。

連載漫畫　西ひさし

お月見（八島校）

今日は樂しいお月見だ
十五夜さんのお月見だ
にこ〳〵顔で笑つてる

イタリー使節

……八島小學校尋常四年生……　中村豊

四月二十六日は、日本と仲のよいイタリーの使節の歡迎會が、西公園であると言ふので僕達は學校に集り、列を作つて、西公園に行くと、大勢の日本や滿洲國の學校の人達が廣いグランドに一ぱいでした。イタリーの使節は、長い旅の疲れも見せず元氣で高い所にいすを置いてすはつて居ました、僕は生れて始めてイタリーの人を見ました、大きな體や赤い頭の毛やかぎのやうな鼻はロシヤ人の樣でした皆の人は黒色のせい服を來て日本人の軍人の樣にきちんとして居り、いかにも勇ましさうでした、商業や中學の上級生は兵隊さんのやうに鐵砲をかついで居ました、僕たちの席はずつと奧でした、パウリッチだん長のお話がありましたが、さはがしくて聞えませんでした、それから普通學校や公學校男子の建國體操がありました、よく見ると横やたてがきちんと並んで居るので皆感心して居ました、それから女子の體操があり次に男女の中等學校の分列式が行はれました、女學生まで分列式をして居るので、日本は男女ともによく訓練されて居るなと言ふ樣にイタリーの人はねつ心に見て居ました、イタリーとドイッと日本は世界の平和のために、仲よくして居るのだと言ふ事を聞いて居ましたが、イタリーも此の分列式を見てこんなりつぱな日本と仲よくして世界の平和をつくると思ふと氣強く思つたでせう。それが終ると、日の丸やイタリーの旗や滿洲國の旗を上げて萬歳をして居る中にたいこの音などで、イタリーの方々が一回ぐるりと廻つて各學校別に歸りました。

毒瓦斯の元祖は日本でした

史實　眞田海月の由來

今から三百年の昔に、現在の毒瓦斯と同じやうなものが戰爭に使用されたと云つたら誰しも意外に思ふでせうが、それが本當の話

（豊） 臣の家來、眞田幸村は智勇兼備の名將であるが、或る時堺の浦に人を派遣し、傘に茶色の筋のある赤海月を澤山集めさせました。そしてそれを日に干してから粉につぶしそのまゝ俵につめて藏つて置きました。その中に豊臣方と德川方との間に戰雲たなびき遂に大阪冬の陣となつたのですこの時、幸村は主家豊臣の爲に大阪城に籠り、勇戰奮闘して敵の心膽を寒からしめたがある日の戰ひの最中

（風） が敵の方に向いて居る頃を見計つて件の海月粉を手下の歩士達に命じてドン〳〵空中に撒かせました。すると、その粉が德川勢の方に散つて行くと、皆ハクション！ハクションとクサメをしだし「これは大變だ」と鼻をこすつても立て續けにくさめが出てどうしても止まず、そのうちに眼が痛くなつて、どうしても開けてゐられなくなり、算を亂して逃げ出したと傳へられてゐます。

赤海月のことを一名眞田海月といふのはこれに

（由） 來するのであつて漁師達はとても嫌ひます。それは網を干す時、この海月がひからびて粉になつたのが鼻に入るとクサメが出て困るし眼に入るとピリ〳〵して痛むからでこれは言ふまでもなく細胞毒のためですが、化學戰に一大暴威を發揮してる毒瓦斯の元祖が、なんと眞田幸村であるとは、面白い事實ではありませんか。

けふの番組

【M・T・C・Y 新京放送局】十八日 日曜日

○※※○ 朝 ○※※○

六、二五ニュース（東京）

六、三〇建國體操 入港船のお知らせ（大連）引續き

七、五〇朝の音樂（大連）

八、二〇氣象通報

九、三〇子供の時間（東京） うたのおけいこ（二）

戰地のお父樣へ　柴田秀子

武内俊子・作詞

森美八郎・作曲

一〇、〇〇新京忠靈塔秋季恒例祭實況＝忠靈塔境内より中繼＝　アナウンサー　田中

一〇、四〇週間を顧みて

「錄音」（東京）

一一、三〇經濟市況（東京）

一一、五九時報（東京）

○※※○ 晝 ○※※○

〇、三〇ニュース（東京・新京）

一、〇〇東京大學對野球聯盟リーグ戰實況（東京）明治神宮外苑野球場より中繼＝

備考

一、全日本學生選手權水上競技大會の好レースを適時野球を中斷して放送す

二、野球なき場合は後一〇〇より後三、〇〇まで東京入中にて晝間演藝を放送す

四、〇〇ニュース（東京）氣象通報・ニュース（新京）＝野球を中斷す＝

○※※○ 夜 ○※※○

六、〇〇子供の時間（東京）童話劇

六、二五講演 ＝全日滿放送＝ 滿洲事變七周年記念日に當りて 關東軍參謀 陸軍歩兵中佐　片倉衷

七、〇〇ニュース（東京） ニュース・告知事項・番組豫告（新京）

七、三〇戰跡めぐり（奉天）

一、柳條湖案内　古賀靜香

二、北大營　アナウンサー　島本信夫

（新京）

一、寛城子・南嶺・案内　岩瀨政子

八、〇〇琵琶（東京） 中村大尉　田中秀次郎作詞　榎本芝水作曲　榎本芝水

八、二五ラヂオドラマ 草むす屍　關東軍報道班提供　近藤伊與吉・作

一、新京驛構内

二、南嶺戰跡

場景

配役

中山新太郎　藤川研一

義弟雄一　岡田壽之

妻芳江　中村米子

その子滿洲男　村田幸三

黒石大隊長　高野修

倉本中隊長　淺井龍太郎

武田少尉　金井武二

土田上等兵　富本勇

八、五五長唄（大連） 綱館　外將士大ぜい

唄　東誠之助

同　東二郎

三味線　東愛子

同　東壽乃

獨唱　堀重太

合唱　奉天教育音樂同好會

ピアノ伴奏　岩田芳子

九、二〇獨唱と合唱（奉天）

一、滿洲事變七周年記念歌　關東軍報道班發表　中島鈴三・作詞　長津義司・作曲

二、獨唱（イ）住家　レルシュタープ作詞　シューベルト作曲

（ロ）不盡山をのぞみて　萬葉集山部赤人の歌　信時潔・作曲

（ハ）大原御幸　新訂高等小學唱歌

三、合唱　海ゆかば　萬葉集大伴氏言立　信時潔・作曲

九、三九時報・ニュース・ニュース解説（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）

一〇、三〇ニュース再放送

一〇、四〇北滿の時間（哈爾濱）

アナウンサー　田中（晝）荒井・小澤（夜）

學藝

魔（二）

李贊華作　川内堯譯

前方に更に柝の音がした、微かに犬の吠えるのが聞えた確かにずつと近づいたのだ。彼はガタ／＼とふるへ、心はピタ／＼と跳ねてゐた、懷ろを探つた、その鐵の道具はがつちりとして其處にある、今夜こそそいつを使つて奇蹟をやりとげねばならん、彼は又まるで死人の顏でも見るやうにびくつとした、だがそれは何も恐れる要はないのだつた竇二墩が御馬を盜むにすら恐がつてはゐなかつたのだ、この俺は好漢ぢやないか、彼は狡く得意げに笑つた。

彼は一つの巨大な岩の後にかくれた、そして前面の莊院までは百碼とはないのを見た月の色が大變好い、そのひつそりとした莊院を照してゐる莊院は大きな龜が蹲つてゐるやうに見える。同善堂の門前の二つの旗竿、紅く塗つた女墻、幾つか剝げ落ちた金文字いづれもはつきりと眼に入る旗竿の上の豆油の長明燈は月光の下でその輝きがない、ただゆらゆらと搖れて楊大の氣持を動かすだけである。

夜廻りが小さな燈籠をさげ番を執り、タンタンと鑼をたたいて通つて行つた、楊大は汗を拭ひ、首を縮めた、彼にはその夜廻りが小七子であることが判つた、小七子ならいつもは何も怕れることはないのだが、今夜は楊大は恐かつた、それが自分で不服だつた

小七子の夜廻りの音はだんだんと遠くへ去つた、莊の後に行つたやうである。楊大は首を伸して四方を眺めた、ただ一片の白い月光、黑々とした高い山、濃い藍をつくつてゐる叢林、何れもひつそりと屹立してゐる、夜は深い、莊院の木の扉は堅くしまつてゐる、人々も又安らかに眠りに入つてゐるのであらう。楊大は些か疑惑を起して來た、彼は自分が化物みたいに出沒してそんな事をやるのを甚だ宜しくない事だと考へた。

だが隨分考へたが、相當躊躇もしてから、今夜は若干恐れを抱いて、大きな危險を冒して此處にやつて來たのだ、その奇蹟が獲られなかつたら空手で歸るのは幸いといふものである。

楊大は暗い所を步き、鼠みたいに動いて、その莊院に潛り込んだ、同善堂の周圍の垣は幸ひにして餘り高くない、だがその垣の上にはいつぱいに藤葛が生えてゐる、楊大はぴつたりと身體をくつつけ勇氣を出ししかも小心に其處を飛び越えやうとした。

木の扉の向ふから夫婦の低い話聲と困つたやうな嘆息とが聞えて來た、楊大は耳を欹だてて聽いた、だが何事もなかつた。彼は自分を恨んだ、前に師匠について體術を習つてゐたら、竇二墩が壁を傳つて走つたやうに、今夜のやうな場合にもうまくやれたらうにと思つた。

同善堂の犬が突然狂つたやうに吠え出した、楊大は足を縮めてこつそり垣から離れる外はなかつた、慌ててゐた、一度ひつくりかへつた。手掌が刺さつて皮膚が裂けた、膝にも怪我をした、だが聲を出すことは出來なかつた、溜息をつく餘裕すらなかつた。これは自分が體術を知らんせゐだ、文句は言へぬと考へた。

（武藤夜舟作滿洲スケッチ）

沉悶

邵冠華作　大藤巍譯

私は戀の懺悔の絲絹をつまぐるには疲れた
記憶の伸び縮みを投げ棄てた
私は青春の若芽を斷ち切る
幸福の笑顏はもう私のものではない
漁網を追ふ浪を冥想する
私は茶の花の香りを思ひ起す
鐘の音が蜂みたいに突き刺さる
私は煩悶の血の花を嚙み碎く。

明代の彌勒白蓮教及び其他の「妖賊」（五）

陶希聖

李福達の傳敎活動の經過は結局どうなつたのか—結局反政府だつたのか？唐樞の疏に言つてゐる所に依れば一斑が知れる。彼は言ふ

福達の出や、始め王良、李鉞よりして之に從ふ、其意何をなさんとするや、繼いで惠慶、邵進祿等を師とす、それ何事を傳ふるや、李鉞漢十月下旬の約、其行何を求むるや「我に天分有り」の數語、その情何を謀れるや、「太上元天金文秘書」其の辭何を指すや、庫を劫し城を攻む、旗を張り爵を拜す、進祿等に於いて成ると雖も、其原何よりせるや鉞甲に誅に伏し、進祿後に敗露す、反狀甚だ明らかなり。故に陝西の人は殺すべしと曰ひ、山西の人は殺すべしと曰ふ、京畿中一人として殺すべしと曰はざるなし。たゞ左右の人不可と曰ふ、臣知るを得ざる也、：李玨…李福達の龍虎形硃砂字無きを見…遂に苟且案を定め、元込を輕縱す。殊に知らず……福達既に妖術あり、則ち龍頭形硃砂子なり、いづくんぞ知らん前には此を假り以て衆を惑はし、後に此により以て罪を避けんとせるを（原文は甚だ長い此處には抄錄した）

これによつて李福達が傳敎した樣子が判る。彼は「我に天分あり」と自稱した、彼は太上元天金文秘書を持つてゐた彼があちらこちらに行つたのは庫を劫し城を攻め旗を張り爵を拜せんとする計畫があつたからであつた。彼につき從ふ者は十月下旬に會ふといふ日を定めてゐた。事件に於ける證人薛良は、なほ彼等が龍虎形硃砂子を有してゐたことを供してゐる（『明史』二〇六唐樞傳）嘉靖皇帝は獻議に於けると同じ主張だつた郭勛を庇はすべく獄案をゆるさず大量の臣僚にみな處罰を下した『明史』二〇六に—

極邊の戍に謫され赦に遇ひ宥されざる者五人、璋、玨、綸、參、前山西副使にして大理少卿に遷されし文華なり。邊衞の戍に謫されし者七人、瑜、逵、泰、瓊、啓元、仕及び知州胡偉なり、民となされたる者十一人、賢、科、一鵬、祐、淳、輅、世魁、鳴鳳、相、鸞なり。職を革められ閑住せる者十七人、頤、壽、玉、啓、潮、文莊、沐、傚、淵、元、鉞、才、楷、仲賢、潤英、壯、雄、節大理丞にして僉都御史に遷されし毛伯溫なり。其他下巡按逮問革職されし者、副使周宣ら復た五人なり。艮抵死す。衆皆戍を證し、寅職に還る。錄故を以て人死、未決、當徒に入る。帝輕しとなすを以て奸黨律を以て坐せんと欲す、摹等張寅未だ死せずして錄之に代りて死す、恐らく天下服せざらん、宜しく永くの地を戍るに緣あるもの及び子孫を以てすべしと謂ふ。乃ち廣西、南丹の衞を戍らしめ赦に遇ふも宥さず。……既に摹等平らぎ反つて功勞あり、之を文華殿に諭し、二品服俸、金帶銀幣を賜ふ。三代誥命を給す遂に「欽明大獄錄」を編み頒ちて天下に示す。時に嘉靖六年（一五二七）九月壬午也。

一五六六年、四川の白蓮敎首事件が暴露したが、その敎徒は李福達の徒黨であることが明らかにされた。領袖の師父は福達の孫であつたのである『明史』二〇六にいふ。

（嘉靖）四十五年正月に至り、四川の大盜蔡伯貴禽に就く、妖術を山西の李同に學ぶと自ら言ふ。所司山西に檄し、李同を捕へ下獄せしむ。同供して李午の孫、大禮の子、白蓮敎を世習し唐の商と假稱し衆を惑はし亂を溫ふとなす。大獄錄の姓名と異るなし、同意に誅に伏す。

之に因り、馬錄等の事情が明らかにされる。この年、嘉靖皇帝は死んだ、隆慶皇帝が位を繼いだ、そして事件が再び蒸し返されることとなつた。

だが「人も骨も俱に既に朽ちたり矣」であつた。ただ李午即ち李福達の唱へたのは彌勒敎であり、李同が習つたのは白蓮敎であつたといふのは疑はしい。或ひは元來の白蓮敎と同樣に白蓮敎を以て彌勒佛下生を宣傳したものであつたらう。

錯覺に非ず

—新井翠吝氏に—

大内隆雄

私が「文學手帖」の中に最近東京の諸新聞で學藝欄が縮小し演藝欄が擴張された傾向があるといふ意味を書いたところ、新井翠吝氏はそれは錯覺であらう、讀賣を除いてそんな事はないと書いてゐられる。

讀賣以外にも、報知がいつの間にか學藝欄を喪失してしまつてゐるではないか。また東京朝日は學藝欄は從前通りだとしても、朝刊第十面の大部分が演藝關係の記事で埋められてゐるではないか。比率の上に於いて明らかに一方の縮小他方の擴大と言へるのである。私は別に錯覺をやつたつもりはないのである。一寸一言して置く次第である。（九月十五日）

一の心境小說

—上林曉「ちゝはゝの記」（『日本評論九月號』）—

これは、あらゆる作家が一度は書くやうなそのやうな類ひの小說。

妻子を連れ東京での文筆家生活に敗慘して故鄕に歸つて來る。病んでゐる父、昔從順であつたのに今は父と向ひ合つて爭ひ、家を飛び出したりする母。しかしその母に對しても、なつかしい幼時の追憶は消し去ることが出來ぬ。いろいろな感懷は若い彼の心中を過ぎる。

そのやうな心境小說なのである。一人の作家に一つはあつてもいいが、斯うしたものに落ち宿くべきではないと思はれる。日本特有の家庭といふものを問題にした作品でもないのである。時代性、社會性さういつたものは甚だこゝには乏しいのである。（御垣衛士）

學藝消息

△文學部隊海軍班上海漢口を目指す從軍文士團海軍班菊池寬、吉川英治、佐藤春夫、濱本浩、小島政二郎、北村小松、吉屋信子の一行七名は十四日午後三時半ダグラス機で上海龍華飛行場に到着、海軍特務部關係者その他前日一足先に上海入りをした陸軍班の久米正雄氏や數日前から上海に滯在中であつた海軍班の杉山平助氏等の出迎へを受け、一行の小島氏がすこし醉つたと蒼い顏をしてみた外は何れも大元氣で地上に降り立つた菊池氏は普斷のまゝの紺背廣姿で「今日は天氣がよくて素適だつた」と上機嫌、紅一點の吉屋信子さんは勇しいニッカー姿で羽田でおくられた花束をかゝへて降りて來たが出迎への久米氏の傍によつて「ハイおみやげ」と東京の御馳走らしい紙包みを手渡した。一行は直ちに自動車で海軍特務部に入つたがおよそ一週間上海附近を觀察のうち前線に向ふ筈である（上海國通）

△音樂部隊武漢攻略戰に參加　ペン部隊の後をうけて今度音樂部隊が武漢攻略戰に參加することゝなつた、顏ぶれは作曲家の深井史郎、飯田信夫、古關裕而、作詞家西條八十、佐伯孝夫の五氏で飯田、佐伯の兩氏はヴイクター、西條、古關の兩氏はコロムビアからそれ／＼軍當局の委囑により上海經由漢口に從軍するもので出發は廿日前後で右のうち深井氏のみは長期滯留し其間上海工部局オーケストラの指揮その他音樂使節の役割を演ずることゝなつてゐる（東京國通）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御寄贈相成度し（係）

△滿洲事業成績分析（第一回）滿洲の主要會社事業成績を考課狀により分析したもの（大連商工會議所、一圓）

△奉天商工公會月報（九月號）「滿洲産米增産統制」「北支に於ける商標保護法の檢討」調査及資料等を盛る（奉天市大和區一緯路二三七奉天商工公會、五十錢）

△奉天商工公會統計月報（九月號）（奉天商工公會調査科）

新京日日新聞

注射藥だけで梅毒は治らぬ

ここに根治法あり

梅毒治療法の再認識

六〇六號が發見された當時これを一本打てば如何なる惡性の梅毒でも忽ち根治するかの如く宣傳されたが、現今に至る幾多臨床實驗の歴史は、十本數十本と重ねても尚再發又再發大きい不安と焦燥を學界と治療界に投げて、梅毒の絶對療法は此處に頓挫するかに見えたが、沃素療法變質療法が發見されるに及んで惡惡なる慢性梅毒もこれによつて死地より救はれるに至つた。

世に 怖しい疾患が三つあります。梅毒、癩、結核の三大病です。誰しも疾病を忌避する。然し性病は男女の閨房の秘密の機會に率して蔓延する疾病であれば、その傳染の經路は複雜であります最も怖くべきは梅毒菌（スピロヘーターパリーダ）が唾液にも證明せられ、戯めの一度の接吻に、無垢の處女の肉體をむごたらしくも梅毒の犠牲にした例も少しとしません。

更に 怖るべきは慢性病と云ふことです。梅毒のタチの惡いのは實にココにあるので不完全乍らも治療を施すと外部の症狀は全く消退して、醫師が診でも血液検査の結果も陰性であつて然も內部に病毒を抱いてゐる場合が尠くありません。人間の體を一皮むいて、血管壁、毛細管壁、細胞組織下を切開いて、精巧なる顯微鏡にて一芯の下に眺め渡す事が出來たらそれが最も理想的でありますが、現在のワッセルマン其他血液反應はマダ〳〵不完全で信頼を置くことが出來ません。

梅毒 梅毒、この怖しい梅毒が患者にとつて寧ろ結核等より怖れられて居ないのはどう云ふワケでせう。皆さんは今迄梅毒で死んだと云ふ事を聞かれませんでせう。それはその筈です。醫師の死亡診斷書に心臓麻痺だとか、腦溢血とか書かれてあつても梅毒に誘因することが如何に多いかを知らねばなりません。

此處 に聲を大にして申上げなければならない事は「現に梅毒をやつてゐる人」と「一度梅毒をやつたことのある人」と「その家族の方」は、もう一度再認識を深めて戴きたいのであります。

あなたにお問ひします

一、あなたはどんな方法で梅毒を治して居られますか？

一、あなたは過去の梅毒は如何にして治されましたか？現在全く不安はありませんか？ア、と思ひ當る節はありませんか？

一、ご家族の方は全く健全でありますか？

從來の誤つた觀念により誤つた治療法を繰返し再發の苦杯をなめられてゐるのは、大體次の事に泛ひしてゐるやうです。

一、現在醫療を受けてゐられる方は六〇六號、蒼鉛、水銀の藥理に就て次の事を知つて戴かねばなりません。この注射藥は血管の中に浮遊する梅毒菌に對してのみ效力を有するもので硬結部を作つて群生蟠居する梅毒菌に對しては效力が無いのであります。初期硬結以後、尚お血液の中へ這入れば第二期と稱へますが、これ以後の梅毒は尋常一樣の手段ではなか〳〵治りません。注射を五本十本と重ねても根治出來ないのが多い樣です。

そも〳〵 血液反應なるものは絶對的のものでは無く、現在これ以上の天眼鏡がないのでこれを採用してゐる迄のもので權威のある博士にでも尋ねて見て下さい。「絶對的とは保證し難し」と答へられるでせう。それその證據には、潜伏梅毒の爆發的勃發による馬鹿か氣狂いとなる、脊髓病と麻痺性痴呆の第四期患者が急激に増へてゐるではありませんか？一二回の血液検査が陰性であつても全く安心出來ません。

然らば完璧の絶對療法はどうするか？答は明瞭です。再發の原因を有す潜伏梅毒菌の巣窟である、血管壁、毛細管壁、細胞組織の硬結部軟化吸收させ、殺菌、解毒、病的產物を迅速排除する沃素療法、變質療法を併用しなければなりません。それによつて猛毒を極める梅毒菌も、體內から隈無く殺滅排泄され、再發の禍根を全く一掃するのであります。

一度梅毒をやつた方とその家族の方に申上げます。「俺は梅毒をやつてねえ」と正直に告白する旦那様は先づありますまい。奥様は「主人に限つて絶對そんな事は……」と打消されるところがどうでせう。結婚前に既に性病の洗禮を受けて居る青年が殆と過半數を占めてゐます。又結婚後において新らしいお土產を奥様へ差上げる不心得な旦那様も世の中には多くあります。婦人の梅毒は複雑であります。經過が潜遁であるだけに子宮周緣等の初期硬結は見逃し勝です。そして全身に移行しますタチの惡いのは外部に梅毒としての症狀を現はさず、頭痛がしたり髮が抜けたりして數年間潜伏梅毒として體中に眠つてゐる場合があります。これは全く體の中に爆彈を抱いてゐるのと同様であります。タチの惡い婦人病に惱まれる方、流產癖の方、ヒクサ、吹出物おでき、胎毒、先天梅毒の疑ひのある子を持つ母親は、お子様も勿論、沃素療法、變質療法によつて、すぐ體內の毒を一掃しなければなりません

沃素 療法、變質療法とは何か！內服によつて內づ血液中の沃素及び抗毒素を新生増殖します。そして注射藥の浸透し難い血管壁、毛細管壁、細胞組織下に巣窟を作つて群生蟠居する、再發の最大原因を爲す潜伏梅毒菌の牙城に殲滅的攻撃を加へるのであります。而、この療法のみのもつ二重作用は心臓や腎臓を害する注射藥の副作用を防禦し、生體の機能を著しく増強し併發症の侵入を完全に封鎖します。沃素療法、變質療法を應用した近頃評判の「重症用毒掃丸」は、政府公許最大限の沃素化合物と西洋特選の變質生藥の合劑であつてその殺菌作用、解毒排毒作用の强力さは內服驅梅劑中の王座を占めるものであります。

滿洲事變七周年記念日

けふ忠靈塔下に嚴肅な祭典

九・一八滿洲事變記念第七周年は再び廻つて來た、この日國都新京では植田關東軍司令官以下日滿各機關代表、學童、團體全部出席のもとに英靈三百八柱眠る忠靈塔境內で嚴肅な秋季例祭を執行するが、滿洲帝國協和會では曩に決定せる行事の整理方針に基き一切の主催行事は斷然この際廢止し、唯從來の如きお祭り騷ぎでなく嚴肅に意義深く行ふ行事だけは自由に擧行せしめることとなつてゐる、都下大部分の分會は午前十時より境內で執行の例祭終了後自主的に會旗を先頭にして參拜、護國の英靈眠る塔前に額づき事變の聖業を感謝し皇軍の武運長久を祈願することとなつてゐる

古着や毛糸屑から浮ぶ一千五百圓

國婦支部の廢品再生運動

大々的に乘り出す

戰時體制の國策に沿ふ爲世は擧げて代用品、再生品時代を現出してゐるが、國都家庭で使用しない着古した洋服、毛糸屑、ボロ切れなど非常に多量に上るだらうと豫想されるので國防婦人會新京支部が乘出した廢品再生運動は富家强國運動の一つとして大々的に進むこととなり木綿屑の方は既に雜巾を各家庭で作成その第一回分として一萬一千枚を近く軍部に献納することゝなつた、毛糸屑の方は滿蒙毛織會社が大陸科學院の指導の下に毛糸屑やボロ切れをほぐして綿三羊毛七の割合で混合、反毛利用法によつて紡織して立派な生地を調製することに成功したので同會社とタイアップして集めることになりその第一回として滿洲國承認記念日十五日、輝かしき富家强國運動發足の日に當つて全分會協力して蒐集に努め整理中であつたが十七日滿蒙毛織へ賣却した所古毛屑一千六十四瓩五、古綿屑百六十二瓩になり賣却代金總計一千五百十二圓五錢といふ多額にのぼつた今までこれだけの金額の品が無駄に積まれてゐた譯で會員一同驚きながら更に第二回蒐集にと進むことになつた

め宇山最高顧問は過般來京、政府當局と打合せを行つてゐるが、大體蒙疆入り官吏の內定をみたので近く離京する事となつた、卽ち今次の同政府招聘は警察關係を含む內務行政官で、內地よりの轉出者を加へて百五十名に上る模樣で現在の同政府顧問八十名を合すれば一躍三倍の二百三十名となり、これ等日系顧問が蒙系官吏と協力し防共陣營の强化を期し行政の浸透を圖るこ

とゝなるので同政府今後の躍進は一段の興味を以てみられてゐる

蒙疆入り官吏　日滿から百五十名

△海友會長賞＝林常介氏【寫眞は高須司令官の小銃射擊】

黃海々戰記念射擊大會

黃海々戰記念射擊大會は十七日午後一時から駐滿海軍部、有終會、海友會聯合にて陸軍射擊場で擧行された、高須司令官を始め幕僚下士官兵有終會、海友會陸海の猛者數十名參加小銃に拳銃に日頃の腕前を振ひ終つて優秀者にそれぞれ賞品授與をなし野戰料理にて乾杯軍歌を齊唱し盛況裡に解散した、受賞者左の如し

△司令官賞＝僞安兵曹長、田中一等兵曹、海友會林常介氏

播磨家入神の技に

滿場たゞ恍惚

皇軍慰問劇の盛況

旣報、中村吉右衞門一座の皇軍慰問劇は十七日午後六時から滿鐵西廣場俱樂部で開演、開幕に先立ち森田弘報協會理事長の挨拶があり

第一に色彩間苅豆、木下川堤の場があり、次で吉右衞門の挨拶があつて第二の清正誠忠錄を上演、吉右衞門の清正の入神の技に階上階下を埋めつくした傷病兵、皇軍將兵、滿洲國日滿要人ひとしく感銘を受け絕讚の拍手は嵐の如くであつた、時間の都合で第三に華やかな神田祭を上演、めで度く閉會した

いよ〳〵今十八日と明十九日の兩日が純益を國都の防空に高射機關銃を献納する催しであるが、この美擧には各方面の絕大な支援があり十八日は旣に豫約で滿員五圓の大衆は多少餘裕がある模樣、また十九日も觀劇申込み殺到しつゝあるので間もなく滿員となるであらう【寫眞は（上）清正誠忠錄と（下）觀客】

日本一流の實業家が

產業視察に來滿

本月末ごろ大連着

滿洲建國六周年を迎へ產業經濟の發展は劃期的なものがあり、殊に產業五ヶ年計畫遂行により着々國內資源の開發が行はれつゝあるが、この躍進滿洲國の現實の姿を日本財界に紹介し、對滿進出、對滿投資の促進に資するため日本の銀行、實業家を招待すること〻なり、滿洲國政府、滿鐵、滿洲中央銀行の四者に於て具體的プランを作成中であつたが、右は日本の一流銀行、實業家約三十名をもつて滿洲產業視察團を組織、本月末或ひは來月上旬大連着全滿各地の產業開發狀況を視察する筈であるが日本財界一流人物を網羅せる視察團は建國翌年のシンジケート團の來滿以來のことでその視察の結果についても多大の期待がかけられてゐる

競馬資金に窮して身をあやまる

土建業店員の惡事

建築材料の騰貴不足を利用してセメント百五十袋を三軒の土建業に持廻つて詐欺した土建業店員が東京に高飛びして捕つた、本籍長崎縣上縣郡峯村、曙町二丁目一〇土建業安本芳之助方店員吉田勝（二五）は苦學力行して專門學校を中途退學した前途有爲な青年として本年四月同店に入店したものだつたが、ふと覺えた競馬の面白さに資金を作らうと身を誤り同業者澤がセメントの品不足で集めるのに奔走してゐるのに目を付け、七月下旬自分の店の五十瓩入百五十袋を賣却するとうまく持ちかけ東三條通松浦組より金三百八十五圓、西五馬路横川工業所より金八百圓を詐取、競馬で費消して更に長春大街安坂商店へも話を持ちかけたがこの方は現品と引換で無いと金を渡さないと言ふ上にそろそろ主人の方でも變に思つてゐる樣子なので最後の仕事と自分の管理してゐるセメント百五十袋を引渡し金四百五十圓を受取ると共に八月上旬何れかへ高飛びした、其の後市內各署で搜査を行ふと共に全國に手配中の所十五日東京扇橋署の手で逮捕された旨通知あり近日中央通署より身柄引取に赴くことになつた

使節團一行

トリノ市を見學

【トリノ十六日國通友松特派員發】十五日夜トリノに到着した訪獨伊滿洲國使節團一行は十六日午前七時三十分カーサ・リットリアのファシスト陣歿將士の墓及び歐洲大戰戰死者の墓に參拜花環を捧げた後イタリー屈指の大會社たるファイアットならびにスーパー等の飛行機および自動車工場を見學ついでサンジイドの丘に「一月三日」と呼ばれる子供の樂園を興味深く見學した、更に午後一時からトリノ市長主催のマタギユーにおける歡迎午餐會に出席、續いて午後三時からイタリー飛行機で航空ページエントを見學終つて市內各所を見學した後午後六時三十分トリノを出發藝術の都ミラノに向つた、なほ一行は十六日午後九時十分ミラノ着、十時よりミラノの府廳における歡迎レセプションに出席の豫定

商業の夕べ賑ふ

特別市公署主催新京商業の夕べは十七日午後八時より大同公園內野外音樂堂で擧行された、定刻開會の辭につぎ、新京商業學校五年生六十名をもつて組織するブラスバンドの伴奏で校歌を齊唱し、吹奏樂行進曲、圓舞曲、接續曲、行進曲あり、ついで應援歌、再び吹奏樂の演奏あつて十時頃閉會した、會場は同校生徒を始め、父兄等がスタンドを埋め頗る盛況であつた

實業俱樂部と大使館軍勝つ

準硬式野球第三日

本社主催三協後援の準硬球野球大會第三日十七日は午後二時より經濟部球場に於て實業俱樂部對經濟部、午後四時半より滿洲煙草對大使館の二試合が行はれた

▲實業俱樂部對經濟部　色々な故障のため選手に缺けた經濟部優勝候補實業俱樂部に對し善戰したが不幸六對零で惜敗した

スコアー

實	0	0	3	0	1	1	1
經	0	0	0	0	0	0	0

0―6

メンバー

實　木山田橋藤下岡賀坂邊 / 八片森高佐山片津田渡 / 6 8 37 1 9 4 2 79 5 4

經　原田城井平田中村田 / 荻岡三笠豬榎田石堀木 / 7 4 9 1 65 2 3 56 8

▲大使館對滿洲煙草　古井（球）小川、星野（壘）氏審判大使館先攻で開始前半大使館の打棒振ひ一、二回に合計七點を先取回復に奮戰した滿洲煙草後半四點を入れたが結局七對四で大使館勝つ

スコアー

大	3	4	0	0	0	0	0
煙	0	0	0	1	2	1	0

4　7

メンバー

大　田何方高川野田本尾 / 鍛井國月澄奥平杉押 / 4 2 6 7 8 3 15 51 9

煙　原部間中島石山 / 上建金岸千山高白內 / 7 1 6 5 2 9 6 3 8

六大學リーグ

慶應2―2法政

【東京國通】十七日の六大學リーグ戰慶法一回戰は慶應先攻で開始、二對二の引分けで終つた

法政	0	0	0	2	0	0	0	0	0
慶應	0	0	1	0	1	0	0	0	0

2―2

明治2―0立教

【東京國通】十七日の六大學リーグ戰明立一回戰は立教先攻で開始二對零で明治先勝す

△バッテリー　明治　清水―松井　立教　石田―町田

明治	0	0	0	0	0	1	0	1	0
立教	0	0	0	0	0	0	0	0	0

0―2

賭博常習團捕る

十七日正午ごろ首都警察廳警務科督察股員尹警尉が督察のため市內密行中東三馬路郝家胡同居住無職揚興源（五一）が自宅を根城に日夜賭博を開帳この道の常習犯であると聞き込み直ちに單身同家を襲ひ折柄車座になつて開帳中であつた揚ほか吉林省生れ東三馬路門牌三五號居住市公署保健科傭人劉藼僑（三〇）河北省生れ東三馬路光明胡同門牌一九號パン製造業傳興舟（四九）山東省生れ、東安屯上坎街門牌四四號馬車業賈子修（三五）の四名を一網打盡逮捕した、一味は目下本廳で嚴重取調べ中であるが、揚は賭博を常習に生活を續けて來たものか者で餘罪多數と見られ、また關係者も以外の方面に波及するのではないかと注目されてゐる

呂產業部大臣

國立金鑛精錬廠落成火入式に列席のため來奉中だつた呂產業部大臣は十七日午後六時二十分着あじあで歸京した

滿鐵北支事務局課長級人事（一面續き）

總務部
庶務課長　東京支社庶務課長
參事　貝塚新作
文書課長　總裁室監理課長
參事　永田久次郎
弘報課長　鐵道總局資料課長
參事　加藤新吉
人事部
人事課長　奉天鐵道局文書課長

參事　江口胤秀
厚生課長　北支事務局勤務
參事　寺坂亮一
保健課長　北支事務局勤務
參事　村瀨涉
經理部
主計課長　北鮮鐵道事務所經理課長
參事　佐藤哲雄
會計課長　右同兼務　佐藤哲雄
審査課長　右同兼務

購買課長　鐵道總局調度課長
參事　佐藤哲雄
倉庫課長　審査課長兼務
參事　細海榮治郎
旅客課長　北支事務局勤務
參事　安增一雄
貨物課長　旅客課長兼務
配車課長　北支事務局運輸部副部長兼任　芳賀千代太
運輸課長　右同兼任
車輛課長　北支事務局勤務
參事　七田積
水運部
水運課長　安增一雄
築港課長　北支事務局勤務
參事　本庄進
工作部

工作課長　鐵道總局工作課長
參事　久保田正次
工廠課長　久保田正次（兼任）
工務部
保線課長　北支事務局勤務
參事　竹井外一
改良課長　竹井外一（兼任）
建築課長　北支事務局勤務
參事　太田宗太郎
電氣課長　北支事務局勤務
參事　山本廣
水道課長　本庄進（兼任）
建設課長　北支事務局勤務
參事　竹井外一（兼任）

調査部
參事　北支事務局勤務　坂井米一
警務部
警備課長　北支事務局
參與　富永順太郎
保安課長　富永順太郎（兼任）
愛路課長　北支事務局勤務
副參事　辻茂樹
監察　鐵道總局監察
參事　遠藤貞二郎
同
參事　北支事務局勤務　市原善積
參與　鐵道總局資料課長（北支事務局弘報課長兼任）加藤新吉
參事　北鐵殘務整理　有田宗義
參事　山本廣（兼任）

保健協會の長嶋君、妻女が病臥、折も折新京神社の大祭で煙火がポンポン上る、きかんのが子供、せがまるゝまゝに娘を連れて神社に出掛けた▲相撲は今が最盛り邪魔の子供を如何にして處理すべきやと考へた揚句買つて與へたゴム風船當座は子供もよろこんだがすぐ倦きる、かくして買つた玩具は更に子供をだますの材料たらず次々と徒らに厄介な荷物がふえるばかり相撲どころか轉手古舞で日が暮れ左程子供にも喜ばれず親子でブツブツ云ひ乍ら家路にたどる樣はけだし役所では想像もつかぬ格好▲同じ夜、棒につけた風船振り〳〵吉野町を道化て步いて居る體聯の田中君、さては祭で一杯きこしめ持病の朗病で上機嫌かとよくよく見れば〝早く家に歸らうよ〳〵〟とむづかる子供をあやしての弱り切つたよきパゝ振りではありました

けふの天氣　南の風曇り小雨模樣
きのふ氣溫　最高二〇度八　最低六度四

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

中川雨之助　（諷上演映）　竹[illegible]郎 畫

（百十）

飴屋は?

権は、もう一度、怪しげに偏み睨して、両手を腰に、屈つた腰を伸ばしながら、

「一日に一人や二人、飴屋の通らないことも無いが、一體、どんな屋だつたか知らん」

「さうさなあ、俺も擦れ違つただけで、確かりとした覺えは無え。唯だつて、スッポリ手拭を被つてゐたからなあ……」

権はヂッと考へてゐたが、やがて頓狂な聲でいつた。

「あッ、左様だ、あれだ、あれに違ひない、未だ若い、飴屋には惜しいほどの好い男で、粋な中年増の女と連れ立つて彼方へ行つたが、お侍かたそれだらうよ」

「えッ、年増の女と連立つて……彼方へ行つたといふのは、吉田の御城下の方かい」

「ゐゝ、さうだよ」

「その女は、背のスラッとした、面長の、眉間の處に三日月形の傷のある女ぢやなかつたかい」

「さうだ、背はスラッとして居たが、眉間の傷には氣が付かなんだねえ」

「ふむ、さうか」

市松は考へ込んだ。「もしや、お銀でないか」といふ疑ひが起つたのだ。いかにも起りさうな疑ひであつた。

「それにしても、お銀が、どうして飴屋を知つて居たか……ひよつとしたら、おれが御墨付を投げ込む姿を、何處かで見て居やがつたかな……?」

いくら考へても分らない。

「爺さん、飛んだ店仕舞の邪魔をしたね。ありがたうよ」

彼は茶店を出た。足は、ひとりでに吉田の方へ向つたが、スッカリ元氣が無くなつて居る。飴屋を捜して、御墨付を取返さうと思つた望みがはずれたのだ。二度と、めぐり逢へるかどうか、覺束ないものである。

彼は、魂のぬけがらのやうに、とぼとぼと歩いた。

吉田城下の夕空は、若く炊煙に彩られて、並樹の上を、鴉が塒へ急いだ。

◇

暫く間、姿を隠け出して街を歩くといふことは、お銀としては、少し大膽過ぎたかも知れない。

果せるかな、途中、暗殺隊の隊長矢野傳蔵のために發見された。

傳蔵は一人の部下とともに、深編笠に面を包んで歩いてゐた。ある神社の大鳥居の前で、不圖、お銀の姿を發見したのである。

といつても、ほんたうは、能くお銀を知らないのだ。しかし、軍平から聞いたのと、寸分違はぬ女であつた。

人目を惹くほどの美しさ、仇つぽさ。何よりも動かぬ證據は、眉間の傷だつた。

「あの女の跡を尾けろ」

傳蔵は、部下に命じた。部下の者は、直ぐに尾行を初めた。

傳蔵は軍平に知らせるため、宿の方へ引返した。

日の暮方に、お銀は宿へ歸つた。尾行をつづけてゐた傳蔵の部下は、宿を見屆けて置いて引返した。

その報告を得た軍平は、

「女奴ッ、今度こそは」と、蒼褪りして鍔刃を研いだ。

その夜、お銀は、外出せねばよかつたのである。

けれど、宿から出るのは物臆ないと思つた。夜だからとて、長い部屋に籠へないとはなからう。と、夕飯が済んで一服すると、またぶらりと宿を出た。

軍平が、二三の隊士を語らつて逸早く宿の附近に見張つて居た。